

View 2022

—大田区産業経済部事業概要—



©大田区
はねぴょん

令和4年7月

大田区産業経済部

公益財団法人 大田区産業振興協会

一般社団法人 大田観光協会

目 次

事業種別索引	1
第1 産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人大田観光協会の組織図	7
第2 産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人大田観光協会の事務分掌	8
第3 産業経済部の目標	11
第4 庁議指定事務事業及び部局重要事務事業	12
第5 産業経済部の事務事業	13
1 産業振興課	13
（1）産業振興担当（管理）	13
（2）産業振興担当（調整）	15
（3）産業振興担当（商業）	19
（4）産業振興担当（工業）	27
（5）産業振興担当（交流）	37
（6）融資係	38
2 観光課	40
（1）観光振興担当	40
第6 公益財団法人大田区産業振興協会の事務事業	50
1 総務部門	50
（1）総務セクション	50
2 情報化推進部門	50
（1）情報化推進セクション	50
① 情報化推進	50
② PiOフロント	50
3 地域産業活性化部門	52
（1）地域人財セクション	52
① 勤労者支援	52
② 人財育成・確保	53
（2）MICE推進セクション	55
① コワーキング	55
② MICE推進	55
4 経営支援部門	57
（1）経営支援セクション	57
① プロモーション	57
② 取引拡大（個店・サービス等）	60

(2) 経営支援セクション	62
① 取引拡大（工業・運輸等）	62
② イノベーション	66
5 ハネダピオデパートメント	69
(1) ハネダピオセクション	69
第7 一般社団法人大田観光協会の事務事業	71
第8 参考資料	76
産業経済部予算	76
公益財団法人大田区産業振興協会予算	80
一般社団法人大田観光協会予算	82
事業開始年度一覧	83
産業プラザ施設概要	92

事業種別索引

商店街・商い・サービス業

概要	事業名	頁
商店街の装飾灯整備及び維持管理費の助成を受けたい	商店街装飾灯整備助成	19
区内商業活性化のため、大田区商店街連合会並びに各商店会等の連携強化したい	区内商店街連携強化推進事業	20
商店街の法人化の支援、運営経費の助成をしてほしい	商店街振興組合等推進事業	20
商店街環境の整備、地域の特性を活かしたイベント等に対して助成してほしい	商店街チャレンジ戦略支援事業	21
商店街が行う地域商業活性化のための事業経費を助成してほしい	商店街活性化推進事業(商店街戦略的PR事業、商店街ステップアップ応援事業、組織力強化支援事業等)	22
自分のお店に多くのお客様に足を運んでもらいたい eコマース等、新しい販売に挑戦したい	おおた商い・観光展	60
商品やサービスの改善や商談の機会を増やしたい 商業の専門相談員に相談したい	商い・サービス産業取引相談	61
店舗デザインやディスプレイ改善のためのコンサルタント費用・改修費用の補助を受けたい。	繁盛店創出事業	61

農業

概要	事業名	頁
区内農業者による農作物の品評会と即売会の開催	野菜と花の品評会	23
区民農園を利用したい	区民農園	23
区内農業者と行政の情報連絡の場を設ける	農漁業関連事業	24

公衆浴場（銭湯）

概要	事業名	頁
公衆浴場の施設改善工事や備品購入等の経費を助成してほしい	公衆浴場施設改善助成	24
東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部への助成	公衆浴場事業助成	24
公衆浴場のあり方を検討する協議会の開催	公衆浴場対策研究会	25

その他の業種

概要	事業名	頁
一般家庭や店舗、工場等を改築、修繕する際に、安心できる 区内の業者さんを紹介してほしい	建築工事あっせん相談事業	13
災害等緊急事態時における事業継続に備えたい	産業団体経営革新支援事業 (1) 企業防災普及啓発事業	14

概要	事業名	頁
大型店舗が近隣地域の生活環境に与える影響について対策を立ててほしい	大型店対策	22
区内の計量器使用事業所を事前に調査する	計量器定期検査の事前調査	25
内職求人を知りたい、内職をしたい	内職あっせん・相談事業	54

ものづくり拠点の形成

概要	事業名	頁
貸工場および工業用地の物件情報を知りたい	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (1)貸工場・工業用地マッチング事業	27
工場の新增設、区内の移転にかかる経費を助成してほしい 新しい集合型工場を建設したい	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (2)ものづくり工場立地助成、工場アパート立地助成	27
防音、防臭、防振等の操業環境改善のための工場の改修、移転にかかる経費を助成してほしい	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (3)ものづくり企業立地継続補助金	28
ファブレス企業等の新增設、区内の移転にかかる経費を助成してほしい	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (4)研究開発企業等拠点整備助成事業	29
区内の企業立地促進を図るための区内外企業、空き工場・工業用地への調査等	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (5)企業立地促進サポート業務	29
マンション建設時に、周辺工場との調整ごとについて知りたい	区内工場立地・操業環境整備助成事業 (8)工業地域・準工業地域における 集団住宅等建設事業に係る調整	31
工場アパートを使用したい、社宅を探している	産業支援施設指定管理者管理代行 (1)工場アパート等	33
大学等と産学連携事業に取り組んでいるが、実用化を目指して研究開発拠点を探している	大田区創業支援施設等	35
産業交流施設の整備について知りたい	羽田空港跡地における産業交流拠点の形成	17、37

人材育成・確保

概要	事業名	頁
次世代の人材育成を目的とする各種講習会やセミナーに参加したい。または、工業団体が企画する人材の育成、確保を目的とする講習会や研修会の経費の支援を受けたい	ものづくり人材育成事業 (1)次世代ものづくり人材育成事業	31
ものづくり体験と小中学校等のものづくりの発表を組み合わせたいイベント	ものづくり人材育成事業 (2)ものづくり教育・学習 フォーラム	32
事業承継について、各種専門家から支援を受けたい	事業継承の取組	25
	ビジネスサポートサービス	51
大田区内企業への就職を考えている 大田区が運営する求人サイトに求人情報を掲載したい	おしごとナビ大田区	53
人材育成を高等専門学校の教師や施設を活用して行いたい 自社製品のデザイン性を向上できる人材を育成したい	中小企業次世代ものづくり人材の育成事業	54

概要	事業名	頁
おおた少年少女発明クラブに入りたい（小学生対象）	中小企業次世代ものづくり人材の育成事業（おおた少年少女発明クラブの支援）	54
次世代を担う後継者や若手人材を確保したい	若者と中小企業とのマッチング事業	54

創業・相談事業・コンサルティング

概要	事業名	頁
創業支援を受けたことの証明書について知りたい	特定創業支援等事業（証明）	15
副業・兼業者との連携方法について知りたい	デジタル・データ活用による持続可能な稼ぐ力の創出支援事業	15
コミュニティビジネスについて知りたい	地域課題解決型ビジネス支援	16
創業、新分野進出に向けて活動拠点を探している	産業支援施設指定管理者管理代行 (2) 大田区南六郷創業支援施設	34
区内で創業するにあたり、創業相談、セミナーや試作品製作など専門的な支援を受けたい	創業者支援事業	62, 67
ホームページ・カタログ作成の支援を受けたい	中小企業情報化支援	50
企業経営、創業、販路拡大、技術の向上、契約や会計等、ビジネスに関する様々な相談をしたい	PiOフロント	50

取引拡大

概要	事業名	頁
加工や製品の発注先を見つけたい、仕事を受注したい	受・発注相談	63
自社の加工技術を全国の手・中堅企業にPRし、商談につなげたい	大田区加工技術展示商談会	64
展示会の出展を支援してほしい	国内見本市への出展支援	64
海外取引の相談 海外取引セミナー eコマースの活用をしたい 海外の市場性や投資環境を確認したい 海外企業とのビジネスマッチングを図りたい 企業カタログ、マニュアル等の取引書類を翻訳してほしい タイや中国等、海外の市場開拓に興味がある	海外取引相談事業	65
海外での見本市に出展し市場開拓や技術移転をしたい	海外見本市への出展支援	66
割安な価格で産業プラザで開催される展示会に出展し、自社製品・自店舗の商品のPRをしたい	おおた工業フェア	66
商品やサービスの改善や商談の機会を増やしたい 商業の専門相談員に相談したい	商い・サービス産業取引相談	61
空港に近い場所で、様々な交流・イベントに参加したい。また、各種設備の利用や、専門のコーディネーターから経営に関する支援を受けたい	羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業	69

資金調達の支援

概要	事業名	頁
低利の事業資金融資をあっせんしてほしい	中小企業融資あっせん制度	38
マル経融資の利子補給を受けたい	小規模事業者経営改善資金(マル経融資)利子補給制度	39
新創業融資の利子補給を受けたい	新創業融資資金利子補給制度	39
事業承継・集約・活性化支援資金の利子補給を受けたい	事業承継資金利子補給制度	39

技術・研究開発

概要	事業名	頁
自社で取り組む新製品・新技術の開発にかかる経費を助成してほしい 新製品・新技術評価と、販路拡大を図りたい	新製品・新技術開発支援事業	67
他の区内企業と連携して新事業に取組みたい。 医療・介護福祉・航空宇宙などの成長産業で自社の技術を活かし参入したい 研究に関わる試作品・製品を区内企業に作ってほしい 大手企業等が保有する知的財産を活用した製品開発をしたい	次世代産業創造・産業クラスター形成事業	68

情報提供・ネットワーク

概要	事業名	頁
大田区と他都市の連携について知りたい	医工連携自治体協議会	16
	産業のまちネットワーク推進協議会	27
大田区の産業について知りたい	大田区産業PR事業	14
	大田区産業振興普及事業	57
	産業情報誌の発行	58
	産業情報受発信事業	58
大田区の工場や加工技術などを知りたい、小中学生の社会科見学に大田区の工場に行きたい 全国・海外から大田区の企業を見学・視察をしたい	大田区産業振興普及事業	57

調査事業

概要	事業名	頁
大田区の産業に関する景気動向が知りたい	産業基礎調査 (1) 区内経済状況調査(景気動向調査)	17

産業プラザの管理運営

概要	事業名	頁
産業プラザの管理業務について知りたい	産業プラザ施設維持の管理運営	56
展示ホールや会議室等の利用について知りたい	産業プラザ展示ホール等の管理運営事業	56

表彰事業

概要	事業名	頁
永年にわたり区内中小企業に勤務した従業員の功績をたたえ、その労をねぎらうことにより、勤労意欲を増進させ、優秀な従業員の育成を図る。	中小企業従業員永年勤続等感謝状贈呈	13
人に優しい（働きがいのある労働環境）、まちにやさしい（周辺環境との調和）、経営や技術に優れた工場を「優工場」に認定し、その中で特に優秀な工場を表彰し、町工場の良さを多くの方に知ってもらいたい	工場表彰制度（優工場）	58
技術・技能の継承のため実務指導者と若手技術者との間で実施されている優れた取組を表彰し、多くの企業で参考にしてもらいたい これまでの大田の工匠受賞者の技術を知ってもらいたい（DVDの貸出）	大田区優秀技術者表彰制度「大田の工匠 技術・技能継承」	59
「これぞ大田のお土産！」と言える製品・商品を100点選定・表彰し、多くの方に大田区に来てもらい、お土産にしてもらいたい	大田のお土産100選 表彰事業	59
区内の特色のある商店や飲食店を表彰し、多くの方に大田区に来てもらい、自慢のの味や雰囲気などを味わってもらいたい	商店（飲食店）表彰制度（OTA!いちおしグルメ）	60

勤労者福祉

概要	事業名	頁
自社の福利厚生制度を充実したい 中小企業の勤労者として福利厚生事業を利用したい	勤労者支援（加入促進事業、福利厚生事業、給付事業）	52

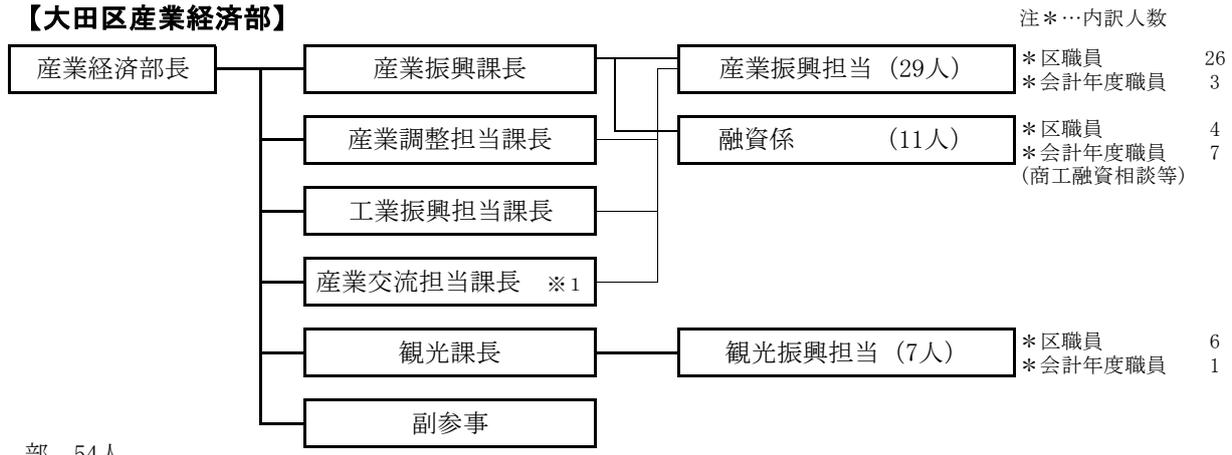
観光振興事業

概要	事業名	頁
国内外からの来訪者を受け入れる店舗・施設及び観光マップやパンフレットの配布、近隣の簡単な案内等にご協力いただける店舗・施設等を登録しています。	大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所等への支援	40
外国人旅行者や区民など、誰もが安心して区内を回遊し、観光やまち歩きを楽しんでいただけるよう観光案内サインを整備します。	観光案内サイン推進事業	40
区の観光紹介用パンフレットを作成し区内の魅力を発信します。	大田区観光紹介用パンフレット	41
（一社）大田観光協会の事業を支援し、民間視点での観光振興を行います。	一般社団法人 大田観光協会補助事業	41
川崎市・品川区・神奈川県等をはじめとした多様な自治体や民間企業と連携し、共同で情報発信を行います。	広域連携事業	42
大田区の得意とする中小規模の多様な会議に対応したMICEを中心に誘致を行います。	M I C E 推進事業	43

概 要	事業名	頁
大田区の認知度向上、興味・関心の喚起を目的として、多言語対応の公式観光サイトを運営します。（令和4年度、一般社団法人大田観光協会運営サイトと統合予定）	メディアを活用した観光情報等の発信	43
区にゆかりがあり、各界で活躍・活動している個人及び団体等に「大田区観光PR特使」を委嘱し、観光振興を図ります。	大田区観光PR特使事業	44
大田区に関連のある映画・ドラマ作品又は区内の観光資源等を活用し、区への誘客及び回遊・消費向上につなげる地域PR事業を実施します。	大田の魅力を活用した地域にぎわい事業 （大田・品川連携はR3年度より分離）	45
観光展示やノベルティの配布を通して、内外に向けて大田区の魅力を広く発信します。	観光PRのための展示及びPRツール等の制作	45
羽田空港主体の「空の日」イベントへ参画し、「国際都市おおた」をより広く国内外にアピールします。	「空の日」に実施する羽田空港イベントとの連携事業	45
大田区の魅力発信、シティプロモーションの推進及び区民のわがまちへの愛着心の向上を図ります。	大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の活用	46
講座やクイズを通し、区の歴史や文化など幅広い分野を学び、まちの魅力を再確認することで大田区ファンを増やします。	おおたプライド事業「大田区学」	46
大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」が区内の観光スポットや商店街等を巡り、地域の方々との交流を深めながら街の魅力を紹介します。	区内探訪「はねぴょんさんぽ」	47
「来訪者と『まち・ひと』をつなぐ観光拠点」をコンセプトとした観光案内所です。	大田区観光情報センターの運営	47
羽田空港国際線到着ロビーの東京観光情報センター内にてパンフレットの配架や産業関連の展示を行っています。	羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナーの運営	48
区内観光関連事業者・関連機関との連携を図り、大田区の観光振興に関する、情報交換等や施策の検討を行います。	大田区観光推進協議会の運営	49
大田区の認知度向上と新たな観光資源の開拓を目的とし、CM・ドラマ・映画等の区内撮影に対してロケ支援を行います。	大田区における撮影支援・協力	49
区及び（公財）大田区産業振興協会等と共催し、「おおた商い・観光展」を企画・運営します。	おおた商い・観光展	71
地域の見どころを区民や来訪者のニーズに合わせてPRし、街中の賑わい創出、産業の活性化を図ります。	大田の魅力PR事業	71
臨海部・多摩川を活用したカヌー事業やイベントにより、水辺を観光資源とした事業を推進します。	水辺の賑わい事業	72
「モノづくりのまちづくり」を推進する発信・交流拠点として、公・民・学が共同した体験イベントや地域イベントを行います。	くりらぼ多摩川運営事業	72
一般の方とモノづくり職人の交流の機会を提供し、地域のモノづくりマインドの醸成や、区内外の来訪者誘致につなげます。	おおたオープンファクトリー	72
区内の観光ガイドグループ等と連携するほか、観光まちづくりに寄与する人材育成を行います。	観光まちづくり事業	73
HPやSNSを活用し、区の認知度向上や来訪意欲醸成を目的とした情報発信を行います。	大田観光協会ホームページ管理運営	73
区内のイベントや観光スポット等の魅力を紹介する情報誌・観光マップを作成します。	観光パンフレット等の発行	74
産業プラザ2F「観光・産業情報コーナー」を運営し、観光・産業情報の案内や書籍、パンフレットの配架を行います。	大田区産業プラザ 観光・産業情報コーナー運營業務	74
両区が共有する観光資源等を活用した地域PR事業を実施し、近隣諸都市から区への誘客やにぎわいの創出を図ります。	品川区・大田区広域連携事業	75

第1 産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人大田観光協会の組織図

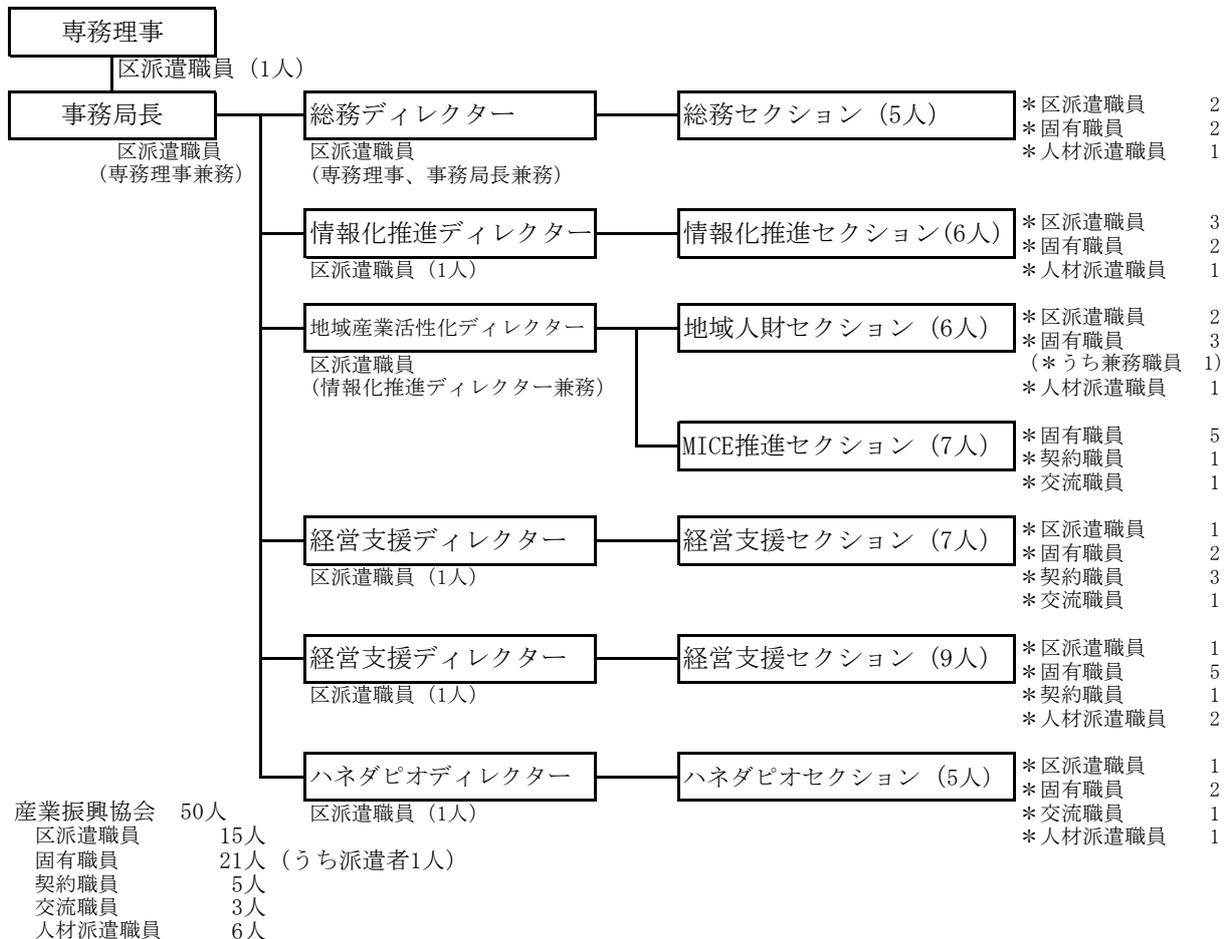
【大田区産業経済部】



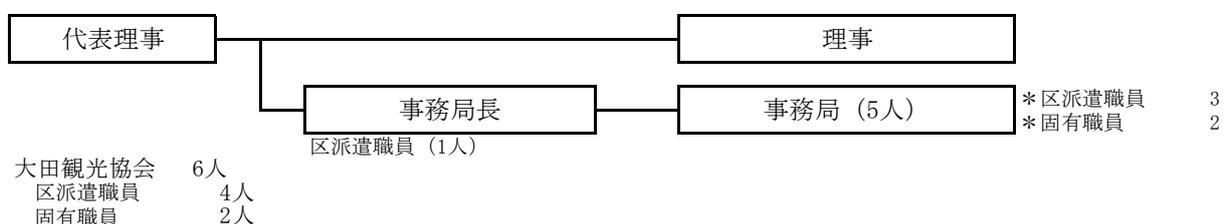
部 54人
職員 43人
会計年度職員 11人

※1 産業交流担当課長：空港まちづくり本部副参事（産業調整担当）兼務

【公益財団法人大田区産業振興協会】



【一般社団法人大田観光協会】



第2 産業経済部・公益財団法人大田区産業振興協会・一般社団法人 大田観光協会の事務分掌

1 産業経済部

◆産業振興課

《産業振興担当》

- (1) 部の政策立案、事業執行方針、事業計画及び事業の進行管理に関すること。
- (2) 部の事務事業の改善に関すること。
- (3) 行政組織及び職員定数に関する部の総括に関すること。
- (4) 部の事業に係る調査研究に関すること。
- (5) 議会に関する他部及び部内他課との連絡調整に関すること。
- (6) 部の庶務に関すること。
- (7) 予算及び決算に関する部の総括に関すること。
- (8) 他部及び部内他課との連絡調整に関すること（他係に属するものを除く。）。
- (9) 危機管理に関すること。
- (10) 議会に関する部の総括に関すること。
- (11) 産業振興施策に関すること。
- (12) 産業関係団体との連絡調整に関すること。
- (13) 産業振興に係る調整に関すること。
- (14) 産業活性化の連携に関すること。
- (15) 公益財団法人大田区産業振興協会に関すること。
- (16) 産業プラザの施設管理に関すること。
- (17) 建築工事あつせん相談事業に関すること。
- (18) 大型店対策に関すること。
- (19) 公衆浴場関連施策に関すること。
- (20) 産業支援施設の管理運営に関すること。
- (21) 産業交流施設等に関すること。
- (22) 部内他課及び課内他係に属しないこと。

《融資係》

- (1) 中小企業等の金融（中小企業融資基金を含む。）に関すること。
- (2) 融資相談に関すること。

◆観光課

《観光振興担当》

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 観光振興施策の調査研究に関すること。
- (3) 観光振興施策に関すること。
- (4) 観光振興施策と他部門事業との連絡調整に関すること。
- (5) 観光関係団体との連絡調整に関すること。

2 公益財団法人大田区産業振興協会

◆総務

≪総務セクション≫

- (1) 協会の経営計画に関する事
- (2) 事業計画及び事業報告に関する事
- (3) 理事会及び評議員会に関する事
- (4) 理事及び評議員会の任免に関する事
- (5) 公印等の管守に関する事
- (6) 諸規程に関する事
- (7) 物品等の検査に関する事
- (8) 職員の任免、服務、給与、研修及び福利厚生に関する事
- (9) 規程等の制定及び改廃に関する事
- (10) 区関係機関、その他関係団体等との連絡調整に関する事
- (11) 文書管理に関する事
- (12) 区議会に関する事
- (13) 基本財産及びその他財産の管理に関する事
- (14) 金銭及び物品の出納保管に関する事
- (15) 収支予算及び収支決算、その他経理に関する事
- (16) 契約に関する事
- (17) 協会の財務等経営改革に関する事
- (18) その他、他デパートメント及びセクションに属さない事

◆情報化推進

≪情報化推進セクション≫

(1) 情報化推進

- ① 産業振興に係る調査・研究に関する事
- ② 内部情報管理に関する事
- ③ 協会のITインフラの調達等に関する事
- ④ 中小企業情報化支援に関する事（デザイン工房除く）
- ⑤ 情報共有化等協会内の事業運営のサポートに関する事
- ⑥ その他、関連する事業について
- ⑦ 協会の事業計画の調整、進捗管理に関する事
- ⑧ 大田区の各種計画に関する事

(2) Pi0フロント

- ① 中小企業情報化支援に関する事
- ② ビジネスサポート事業に関する事
- ③ Pi0フロント運営に関する事
- ④ OTAデジタル×Pi0に関する事
- ⑤ 創業者支援事業に関する事
- ⑥ 情報発信に関する事

◆地域産業活性化

≪地域人財セクション≫

(1) 勤労者支援

- ① 勤労者共済事業の運営及び会員の管理に関する事
- ② 福利厚生事業に関する事
- ③ 給付事業に関する事
- ④ 勤労者支援事業の計画、企画、立案に関する事

(2) 人財育成・確保

- ① 人財の確保支援に関する事
- ② 青少年のものづくり教育に関する事
- ③ 内職相談に関する事
- ④ 若者と中小企業とのマッチング事業に関する事
- ⑤ おしごとナビに関する事

《MICE推進セクション》

(1) コワーキング

- ① コワーキングスペースの管理運営に関する事

(2) MICE推進

- ① 大田区産業プラザ施設の管理代行（指定管理者）に関する事
- ② 利用者開拓に関する事
- ③ 催事情報誌の発行に関する事
- ④ 協会名義の使用に関する事
- ⑤ 産業プラザの建物管理に関する事
- ⑥ MICEの推進に関する事

◆経営支援

《経営支援セクション》

(1) プロモーション

- ① 総合事業案内、工業ガイドの作成に関する事
- ② 視察対応に関する事
- ③ 大田ブランドの発信に関する事
- ④ 産業情報誌の発行に関する事
- ⑤ 産業情報の収集・受発信に関する事
- ⑥ 工場表彰制度に関する事
- ⑦ 大田の工匠事業に関する事
- ⑧ 大田のお土産100選事業に関する事
- ⑨ 商店（飲食店）表彰制度に関する事

(2) 取引拡大（個店・サービス等）

- ① おおた商い観光展に関する事
- ② 繁盛店創出に関する事
- ③ プロジェクト創出に関する事
- ④ 商業・サービス産業のPRに関する事

《経営支援セクション》

(1) 取引拡大（工業・運輸等）

- ① 受発注あっせん事業に関する事
- ② 見本市への出展支援に関する事
- ③ おおた工業フェアに関する事

(2) イノベーション

- ① 新製品・新技術の開発支援に関する事
- ② 新事業連携チャレンジ助成に関する事
- ③ 産業クラスター形成に関する事
- ④ 次世代産業創造事業に関する事
- ⑤ 創業担当の事業と連携する事
- ⑥ スタートアップ支援に関する事

◆ハネダピオ

《ハネダピオセクション》

- (1) ハネダピオの運営及び事業に関する事
- (2) 羽田イノベーションシティ内交流空間の運営及び事業に関する事

3 一般社団法人大田観光協会

- (1) 観光に関する事業
- (2) まちの魅力を演出する事業
- (3) 観光資源の調査研究、情報の収集・提供及び振興に係る事業
- (4) 産業振興に関する事業
- (5) 国際文化交流の推進
- (6) まちの特性を活かした新しい観光資源の開発・創出
- (7) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

第3 産業経済部の目標

新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻など、世界情勢は依然として不安定な要素をはらんでいる。区内経済においても、原油を始めとするエネルギー価格や食材を含めた原材料費の高騰などにより苦境を強いられているが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の解除（令和4年3月時点）により人出が回復するなど、明るい兆しも見え始めている。

令和3年度は、「一般運転資金」の利子補給率加算、大田区プレミアム付デジタル商品券及び大田区商店街プレミアム付地域商品券の発行、ものづくり工場立地助成事業の拡充などにより、即効性のある支援に努めてきた。

一方で、羽田イノベーションシティの交流空間（Pi0 PARK）の本格稼働や創業支援施設「六郷 BASE」の開業、「OTA×デジタル Pi0」等によるデジタル化の推進など、中長期的な視野での戦略的支援にも力を入れてきた。

令和4年度についても、国内外と繋がる羽田空港を有する区としての特徴を生かし、産業のまちとしてのより一層の活気を取り戻すために、産業経済部と（公財）大田区産業振興協会が緊密に連携し、施策・事業を推進していく。

また、産業経済部に編入された観光課についても、産業施策と連携していくことにより、より一層の観光施策の振興を図る。

新型コロナウイルス感染症による区内経済の危機を乗り越え、経済活動の着実な回復と区内中小企業・小規模事業者の持続的な成長へ向けた力強い歩みを、時代の変化に合わせた手法により支援していく。

<取組方針>

- ポストコロナを見据え、事業者が外部環境の急激な変化に適応できるよう最適な支援を実行。
- デジタル技術及びデータを活用し、産業分野のみならず地域全体の持続的発展にも資する取組を強化。
- 事業の再構築を一層強化しながら、柔軟な発想のもとで時代の潮流を意識した取組を展開。

第4 庁議指定事務事業及び部局重要事務事業

庁議指定事務事業	
1	HANEDA GLOBAL WINGS のまちづくり 【羽田イノベーションシティ「HANEDA×PiO(区施策活用スペース)」の利用拡大】
2	工場の立地・操業環境の整備 【ものづくり工場立地助成】
部局重要事務事業	
1	工場の立地・操業環境の整備 【産業支援施設の運営】、【企業誘致の取組推進】
2	新製品・新技術開発の支援 【助成金交付】、【コンクール表彰】
3	取引拡大の支援 【受発注相談、商談会の実施】、【展示会の開催、出展支援】、【海外展開支援】、 【情報提供などの支援】
4	商いの活性化、魅力の発信 【商店街の機能向上支援】、【商いの魅力発信】、 【大田区の特選品・グルメのPR】
5	創業支援 【創業者支援相談】、【スタートアップ試作支援】
6	ネットワーク形成支援 【IoT 仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト】、 【次世代産業創造・産業クラスター形成支援】
7	多様な産業の持続的な発展に向けた人材育成・事業承継・危機管理等 【次代を担う人材育成】、【事業承継の取組支援】、【中小企業のデジタル化支援】、 【副業人材を活用した中小企業支援】、【企業向けBCPの普及啓発】
8	経済活動支援策 【中小企業等への支援】
9	シティプロモーションの推進 【メディアなどを活用した情報発信】、【シビックプライド醸成に向けた取組】、 【大田区公式PRキャラクター「はねびよん」の活用】
10	来訪者等受入環境整備 【ウェルカムショップ・まちかど観光案内所の統合運用】、 【まちかど観光案内所の制度の推進】、【大田区の観光拠点施設の運営】、 【大田区観光案内サイン整備の推進】、【MICE 誘致の取組】
11	観光まちづくりの支援と多様な主体と連携したにぎわいの創出 【観光まちづくり団体などへの支援】、 【地域が主体となったにぎわい創出への支援】、 【自治体間広域連携の推進（川崎市・品川区等）】、 【観光関連事業者・関係団体との連携】

第5 産業経済部の事務事業

- ※ 記載している事業は「主な事業」です。
- ※ 社会経済情勢の変化などを受けて、変更になる場合があります。
- ※ 記載の予算・決算額を積算しても端数処理等により、実際の事業予算・決算額と一致しない場合があります。

1 産業振興課

(1) 産業振興担当（管理）（電話番号：03-5744-1363）

産業経済部の施策・計画の立案、予算及び決算、調査・研究等に関する取りまとめや他部及び関連団体等との連絡調整など、部の庶務担当として円滑な事業運営に向けた対応を行っています。

建築工事あっせん相談事業		その他の業種	
令和4年度予算額	： 646 千円	令和3年度決算額	： 149 千円

【事業概要】

区内の一般家庭等の増改築、修繕工事等に対応できる業者を区民にあっせんすることにより、区民サービスの向上を図ります。

毎月第2・4火曜日午後1時30分～4時30分に本庁舎ロビーで大田区建築あっせん事業連絡協議会（建協）によるリフォーム相談を行っています。また、随時、建協へ電話の取り次ぎによるあっせんを実施しています。

このほか、建協が実施する住宅デー等における建築あっせん事業の広報活動にかかる経費を助成しています。

【対象者】

区内在住者、区内建築関連業者

【令和3年度実績】

- ・あっせん件数 101件（うちリフォーム相談日受付 32件）
- ・新型コロナの影響により全22回開催予定中9回開催

中小企業従業員永年勤続等感謝状贈呈		表彰事業	
令和4年度予算額	： 481 千円	令和3年度決算額	： 333 千円

【事業概要】

永年にわたり、区内中小企業に勤務し、大田区の産業の発展に寄与された方の功績をたたえとともに、多年の努力に感謝の意を表すため、感謝状及び記念品を贈呈します。

【対象者】

○従業員

- ア 区内同一商店又は事業所に満10年勤務している従業員で、所属商店会長又は所属産業団体の長から推薦を受けた者。
- イ 区内同一工場に満15年勤務している従業員で、所属工業団体の長から推薦を受けた者。

○団体役員

産業団体の正副会長を満5年、又は産業団体の連合組織の正副会長（理事長）を満3年務めた者。

【令和3年度実績】

永年勤務従業員感謝状贈呈 142人（商業 4人・工業 110人・その他事業所 28人）
 団体役員功労者感謝状贈呈 5人（商業 1人・工業 1人・その他団体 3人）

大田区産業PR事業		情報提供・ネットワーク	
令和4年度予算額	： 4,785千円	令和3年度決算額	： 4,699千円

【事業概要】

産業プラザ内に観光・産業情報コーナーを設置することで、大田区内の観光・産業情報を総合的に発信する場を提供します。

場 所：大田区南蒲田一丁目20番20号 大田区産業プラザ Pi0 2階

電話番号：03-3733-0066

営業時間：平日：9時から17時、土曜：10時から17時

お 休 み：日曜、祝日、年末年始、全館休館日

【対象者】

区民その他一般

【令和3年度実績】

利用者数：4,216人

産業団体経営革新支援事業（25頁にも事業説明あり）		その他の業種	
令和4年度予算額	： 3,495千円	令和3年度決算額	： 5,688千円

（1）企業防災普及啓発事業			
令和4年度予算額	： ー	令和3年度決算額	： 2,640千円

【事業概要】

区内事業者の災害や新興感染症への事前の備えに関する意識向上を図るため、令和3年度に簡易版BCP（事業継続計画）シートを作成しました。

作成したBCPシートは区施設窓口や区内産業団体を通じて配布するほか、区ホームページに掲載し、普及啓発を行っています。各事業所における防災・感染リスク低減に繋がる環境の整備や本格的なBCPの策定など、それぞれの状況に合わせた取組の強化に繋がります。

【令和3年度実績】

簡易版BCPシート

- ・紙媒体作成部数 災害編・感染症編 各10,000部
- ・区HPでのダウンロード数 災害編 1,164回、感染症編 964回

(2) 産業振興担当（調整）（電話番号：03-6424-8655）

創業支援事業や産業基礎調査に加え、区、区内企業、国、大企業、大学等様々な機関との連携強化により区内産業の活性化を目指します。

特定創業支援等事業（証明）（予算計上なし）	創業・相談事業・コンサルティング
------------------------------	------------------

【事業概要】

産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画が国から認定されたことに伴い、創業支援総合窓口を設置し、創業者（創業希望者を含む）に対し情報の提供や適切な連絡先を紹介します。また、特定創業等支援事業による支援を受けた創業者に対して、証明書を発行しています。

【対象者】

創業者及び創業希望者

【令和3年度実績】

認定書発行：80件

創業支援事業	創業・相談事業・コンサルティング
令和4年度予算額：41,700千円	令和3年度決算額：31,481千円

(1) デジタル・データ活用による持続可能な稼ぐ力の創出支援事業

令和4年度予算額：37,500千円	令和3年度決算額：27,390千円
-------------------	-------------------

【事業概要】

世界情勢の目まぐるしい変化、脱炭素をはじめとした新たな環境対策、コロナウイルス感染症の拡大等、我が国の経済環境は大きく変化しており、国内最大規模を誇る大田区の製造業や商店街を取り巻くビジネスは厳しさを増しています。

これら環境変化や多様な課題への対応を図ることを目的に、デジタル技術・データ活用、脱炭素をはじめとしたSDGs対応、それら新たな取組をけん引する副業兼業人材との連携による稼ぐ力の強化を目的に本業務を実施します。

【令和3年度実績】

(1) 副業兼業人材とのエコシステム構築

大田区産業の魅力やモデル事業の意義について効果的なプロモーションを実施することで、意欲的な副業兼業人材を大田区に呼び込み、地域産業活性化や地域課題解決のための連携ネットワークを構築し（延べ450名の副業者から事業エントリー）、持続的に意欲的な人材が集まり、地域産業との連携を創出するエコシステムの基礎を構築しました。

(2) 稼ぐ力の強化PJ（商店街）

「大田区サステナブル商店街構想」としてプロジェクトを立ち上げ、データ活用のための整理、再エネ・省エネの現状把握、フードロス対策検討、商店街の遊休資産の広告パッケージ化という4つの取組を進め、モデルとなる1つの商店街と連携して実証を行った。

特に広告パッケージ化の取組において、商店街で活用できていなかったフラッグ・アーケードボードを民間企業が活用できるよう整理し、1社の広告を獲得した。これにより、商店街が加盟店舗からの組合費や補助金以外で独自に稼ぐ仕組みを実証しました。

(3) 稼ぐ力の強化PJ (町工場)

「大田区サーキュラーファクトリー構想」としてプロジェクトを立ち上げ、区内製造業の新規受注獲得に向けた検討、HICity と連携した製造業支援、再エネ・省エネの現状把握という3つの取組を進め、モデルとなる町工場10社と連携して、先進的な取組や、より付加価値の高いビジネスへの展開に係る課題について、ヒアリングやディスカッションを実施しました。

特に区内製造業の新規受注獲得に向けた検討において、これまで区内製造業が無償提供していた知見やノウハウをコンサルティングサービスとしてマネタイズするビジネスモデルを構築。これにより、区内製造業が加工・製造以外の部分で自社の強みを生かして稼ぐ仕組みを確立しました。

地域課題解決型ビジネス支援		創業・相談事業・コンサルティング	
令和4年度予算額	： 2,660千円	令和3年度決算額	： 759千円

【事業概要】

これまでは、コミュニティビジネスに興味のある方を対象に、コミュニティビジネスシンポジウムやコミュニティビジネス創業塾及び個別相談会を開催し、地域課題の解決や商い活性化を目的とした新規ビジネスの創業をサポートしてきました。

近年の外部環境の急速な変化(コロナ、SDGs、DX、脱炭素化等)に対応するためには、国内でも優秀な研究開発シーズを持つ大学機関等と連携し、スピード感を持ち、新分野、新ビジネスに挑戦する創業者の創出が必要なため、大田区に所在する東京工業大学との連携を行い、新たな創業カリキュラムの作成を行います。

【対象者 (予定)】

東京工業大学の起業に関心のある学生

※一般向けの創業支援として、産業振興協会が創業相談員による窓口を開設し支援を実施。

【令和3年度実績】

東京工業大学新スマート社会推進コンソーシアムとの連携による起業体験セミナー開催

ものづくり集積都市間連携事業 (27 頁にも事業説明あり)		情報提供・ネットワーク	
令和4年度予算額	： 107千円	令和3年度決算額	： 30千円

(1) 医工連携自治体協議会 (予算計上なし)

【事業概要】

平成27年5月に大田区、文京区、川崎市の3自治体が、医工連携に関して、自治体レベルでネットワークを構築し、医療機器産業及びものづくり産業の活性化を目指すための協議を行っています。

【令和3年度実績】

医工連携オンラインセミナー (2回) (区は後援)

産業基礎調査		調査事業	
令和4年度予算額	： 12,680千円	令和3年度決算額	： 12,666千円

(1) 区内経済状況調査（景気動向調査）					
令和4年度予算額	：	4,980千円	令和3年度決算額	：	4,960千円

【事業概要】

区内工業、小売業等の景気動向を四半期毎に調査し、調査結果を大田区ホームページに掲載する等して景気動向の情報を提供します。公益財団法人大田区産業振興協会内の「ものづくり連携コーディネーター」、「商い活性化コーディネーター」や金融機関4社のとらえる区内の景況所見も加えて発行します。

- 年4回（6，8，11，2月）発行
- 調査項目：業況・売上・価格・在庫・収益、借入金の動き・重点経営施策・設備投資動向及び特別調査（各調査時期の経済状況・社会状況等に応じて選定）等
- 配布先：関係団体・協力企業へ配布

【対象者】

- 調査先 各回 区内780事業所以上（製造業250、小売業200、建設業180、運輸業150）

【令和3年度実績】

- 景気動向調査 4回（調査票回収率 各回60%以上）
- 特別調査 3回
 - ・ITを活用した業務効率化・生産性向上について
 - ・SDGsについて
 - ・仕入先・販売先の変化について
- 特別企画 1回
「令和2年の休廃業・解散、新設法人」

羽田空港跡地における産業交流拠点の形成（37頁にも事業説明あり）		ものづくり拠点の形成			
令和4年度予算額	：	442,618千円	令和3年度決算額	：	484,865千円

(1) IoTを活用した仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト					
令和4年度予算額	：	40,500千円	令和3年度決算額	：	80,910千円

【事業概要】

これまでの事業成果を踏まえ、大田区のものづくり企業の競争力の源泉でもある仲間まわしのネットワークをデジタル化することで、既存ネットワークの体制強化、機能向上をめざすとともに、提案・コンサルティング領域におけるニーズとのマッチングを促進する環境を構築していきます。

(1) 中小企業ネットワークの拡大

区内企業はもとより、全国の製造業地域や企業と広域連携の上で、利益率の高い仕事の獲得に向けたネットワークを拡充します。

(2) 発注者の拡大

従来の図面から製造する領域から、利益率の高い提案・コンサルティング領域へと拡大を図るために、大手企業等の研究開発部門等からの発注拡大に向けた取り組みを推進します。

(3) 海外展開への検討

将来的な海外展開に向けて、アフターコロナの世界情勢を踏まえた事業拡大に係る調査・検討等を実施します。

【令和3年度までの実績】

IoT 技術を活用し、IoT 仲間まわしによる中小企業の生産性向上を実現し、発注者に対し効率的なものづくりを提供するための事業を推進してきました。

(1) 企業変革の促進（利益率の高い仕事の獲得に向けた変革）

区内企業が付加価値の高い提案型の製品を提供できるよう、変革するために必要なノウハウの表出化や共有化を行うとともに、農業分野をターゲットにすることで新たな開発案件等を獲得することに成功しました。

(2) 仲間まわしの生産性向上（デジタルの仕組み構築）

仲間まわしの工程に効果的なデジタルツールの開発及び導入に向けた実証実験を実施し、ネットワーク化に向けた仕組みを構築しました。

(3) 推進体制の構築・強化（コンソーシアムの拡充）

デジタルの仕組み構築に向けて、これまで蓄積したノウハウを具現化するべく、新たにシステム構築を担う企業と連携する等、推進体制を構築・強化しました。

(3) 産業振興担当（商業）（電話番号：03-5744-1373）

区内商店街を中心に、浴場、農業、その他各種産業団体への支援を行い、地域の賑わいを創出するとともに区内産業の活性化を図っています。

商店街装飾灯整備助成		商店街・商い・サービス業	
令和4年度予算額	： 39,233 千円	令和3年度決算額	： 30,597 千円

【事業概要】

商店会に対し、装飾灯整備費の一部を助成することにより、商店会の整備及び活性化と地域の防犯にも貢献できる環境に配慮した魅力ある商店会づくりに寄与します。

(1) 装飾灯設置補助			
令和4年度予算額	： 1,772 千円	令和3年度決算額	： 67 千円

【事業概要】

ア 商店街装飾灯設置等補助

設置基数の1/2に1基あたりの設置経費の1/2の額（限度額134,000円）を乗じた額

イ 商店街装飾灯移設補助

移設経費の1/4の額

ウ 商店街装飾灯撤去補助

撤去基数に、1基あたりの撤去経費の額（限度額56,000円）を乗じた4/5の額

【対象者】

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会

【令和3年度実績】

ア 商店街装飾灯設置補助：1商店会

イ 商店街装飾灯移設補助：0商店会

ウ 商店街装飾灯撤去補助：0商店会

(2) 装飾灯維持管理費補助			
令和4年度予算額	： 37,461 千円	令和3年度決算額	： 30,530 千円

【事業概要】

ア 電灯料補助

各商店会の基準本数に補助基準単価8,400円を乗じた額（限度額年間支払い電灯料額）と、年間支払電灯料額に1/2を乗じた額（限度額100万円）を比較し、いずれか高い額を補助

イ 小規模修繕費補助

各商店会の基準本数に補助基準単価5,000円を乗じた金額を上限に補助

ウ 申請補助業務（委託）

各商店会から出された申請書等について、書類点検等を区商連へ委託して実施

【対象者】

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会

【令和3年度実績】

商店街装飾灯維持管理費補助 122 商店会

区内商店街連携強化推進事業		商店街・商い・サービス業	
令和4年度予算額	： 15,861 千円	令和3年度決算額	： 15,067 千円

【事業概要】

区内商業活性化のため、大田区商店街連合会（以下「区商連」とする。）並びに各商店会等の連携強化を推進します。各事業は、区商連へ委託して実施します。

ア 区内共通商品券拡充事業

大田区内共通商品券発行・拡充事業として、区内共通商品券及び取扱店名簿の制作・発行、商品券袋等の購入を行います。

イ 若手商人ネットワーク事業

若手のネットワークづくりを進め、情報共有と次代を担うリーダーを育成するため、セミナー等を実施します。また、セミナー等の受講生が事業を実施した際の活動を支援します。

ウ 商店街応援団体支援事業

イベント等への出演により商店街活性化に寄与するボランティア団体に係る活動を支援します。

エ 商店街魅力賑わいPR事業

民間事業者と連携し、多様性に富む大田区商店街の魅力をキャンペーン等でPRし、商店街への誘客及び賑わいの創出を図ります。

【対象者】

大田区商店街連合会、区内商店会等

【令和3年度実績】

○ 商店街魅力賑わいPR事業

- ・「るるぶ&MORE」タイアップ媒体制作（蒲田・蓮沼テレワーク等4記事）
- ・「レッツエンジョイ東京」タイアップ媒体の制作（田園調布のスイーツ・お土産1記事）
- ・「旅色」タイアップ媒体制作（田園調布でのお散歩1記事）

○ 若手商人ネットワーク事業

- ・次世代リーダー育成塾（ネットワーク事業）14名参加、3事業実施
- ・次世代リーダー育成塾（トライアル事業）24名参加、4事業実施

商店街振興組合等推進事業		商店街・商い・サービス業	
令和4年度予算額	： 4,125 千円	令和3年度決算額	： 4,001 千円

【事業概要】

商店街の法人化を推進し、区内商業の発展を図るため、法人化された組合の運営面への指導と、運営経費の一部補助を行います。また、商店街振興組合等の若手の活動が活発になるように青年部設立・活動について支援します。

【対象者】

商店街振興組合法及び中小企業等協同組合法の規定に基づいて設立され、商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された組合

【令和3年度実績】

- 既存組合運営指導：28 組合
- 既存組合運営費補助：24 組合
- 青年部設立・活動費補助：5 組合

商店街チャレンジ戦略支援事業		商店街・商い・サービス業	
令和4年度予算額	： 247,768 千円	令和3年度決算額	： 103,957 千円

【事業概要】

商店街が行う商店街環境の整備、地域の特性を活かしたイベントや商店街づくりに対して助成することにより、商店街の活性化を促すとともに地域の核としての商店街機能の充実を図ります。

補助対象事業	補助率	限度額	備考 (利用回数等)
イベント事業	2 / 3	40 万円～ 600 万	1 商店会 2 事業まで 共催は 1 事業まで
活性化事業	2 / 3～ 11 / 12	40 万円～ 13,750 万円	1 商店会 1 事業まで
多言語対応事業	5 / 6	833 万円	1 商店会 1 事業まで (活性化事業含む)
キャッシュレス対応事業	5 / 6	8,333 万円	1 商店会 1 事業まで
地域力向上事業 (感染症対策事業)	5 / 6	50 万円	1 商店会 1 事業まで
地域連携型事業	4 / 5 または 2 / 3	800 万円	商店街と地域団体とで実行委員会を組織 補助率 4 / 5 新規の取組の場合 補助率 2 / 3 継続した取組の場合
小額支援事業	8 / 9	88 万円	前年度まで商店街チャレンジ戦略支援事業及び東京都の他の商店街振興事業を実施していない場合のみ利用可
イベント事業 (若手・女性支援事業)	8 / 9	88 万	1 商店会 1 事業まで

【対象者】

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会、大田区商店街連合会及び大田区商店街振興組合連合会

【令和3年度実績】

- イベント事業 54 事業
- 活性化事業：12 事業
- 地域連携型事業：1 事業
- 地域力向上事業 (感染症対策事業)：31 事業

商店街活性化推進事業		商店街・商い・サービス業	
令和4年度予算額	： 13,394千円	令和3年度決算額	： 352,525千円

【事業概要】

区内商店街等が実施する商店街活性化のための事業について、その経費の一部又は全部を助成することで、にぎわい・つながりの創出に寄与し、地域及び商業の活性化を図ります。

ア 大田区プレミアム付デジタル商品券・プレミアム付区内共通商品券の発行（新規）

区民生活支援及び昨年度実施したプレミアム付デジタル商品券で高まった地域のキャッシュレス化を更に定着・加速させ、デジタルの力を活用した地域経済の活性化を図るため、プレミアム付デジタル商品券を発行します。あわせて、プレミアム付区内共通商品券を発行します。

イ 商店街ステップアップ応援事業

商店会を巡回し、各種支援制度を案内するほか、商店会が抱える課題に対して解決に向けた専門家の派遣等の提案を行います。業務委託により実施します。

ウ 商店街組織力強化支援事業

商店街、商業集積の持続的発展を図るため、専門性の高い外部人材を活用し、組織力の強化を支援します。業務委託により実施します。

エ 大田区商店街戦略的PR事業

訴求対象や媒体に工夫を凝らし、商店会、個店及びグループがPRを実施する事業について、媒体制作費（WEB媒体制作を追加）や周知費等を補助します。補助率は4/5、補助限度額は16もしくは32万円まで、同一年度内に1商店会2回まで利用可。

【対象者】

ア 大田区プレミアム付デジタル商品券・プレミアム付区内共通商品券の発行（新規）

大田区在住・在勤・在学の方

イ 商店街ステップアップ応援事業

大田区商店街連合会

ウ 商店街組織力強化支援事業

大田区商店街連合会及び商店会

エ 大田区商店街戦略的PR事業

商業関係団体届出要綱に基づく届出をし、受理された区内の商店会

【令和3年度実績】

- 大田区プレミアム付デジタル商品券：利用者 38,681人 販売数 150,814口
利用総額約 978,417千円
- 大田区商店街プレミアム付地域商品券事業：15事業（17会）
- 商店街ステップアップ応援事業：巡回先 121商店会、巡回数延べ 165回
- 大田区商店街戦略的PR事業：17事業（17会）

大型店対策（予算計上なし）	その他の業種
----------------------	--------

【事業概要】

区内に出店する店舗面積 1,000 ㎡を超える大型店の近隣地域への生活環境に対する影響等を総合的に判断し、大規模小売店舗立地法に基づき、地元自治体として法律の運用主体である東京都に対し意見を述べます。その際、区民の要望等、必要に応じて地域環境への影響調査を行います。また、店舗面積 500 ㎡超～1,000 ㎡の大型店に対しては、区独自の要綱で対応します。

【対象者】

- ア 大規模小売店舗立地法に基づく届出
店舗面積 1,000 ㎡を超える大型店の出店者
- イ 大田区要綱「大田区大規模小売店舗の出店に伴う生活環境保全のための要綱」に基づく届出
店舗面積 500 ㎡超～1,000 ㎡の大型店の出店者

【令和3年度実績】

- ア 大規模小売店舗立地法に基づく都への意見表明 1件
【変更】イオンスタイル御嶽山駅前
- イ 区要綱に基づく届出 2件
【新設】京急ストア平和島店
【変更】オリンピック新蒲田店

野菜と花の品評会		農業	
令和4年度予算額	: 887 千円	令和3年度決算額	: 317 千円

【事業概要】

区内農産物の栽培出荷技術の改良と優良品種の普及を図るため、区内農業者による品評会を実施します。また、出品物を区民に展示・即売することにより、区内農業への理解を深めることを目的としています。

【対象者】

(出品者) J A所属の区内農家、(即売会) 一般来場者

【令和3年度実績】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、品評会のみ開催とし即売会は中止

区民農園		農業	
令和4年度予算額	: 14,304 千円	令和3年度決算額	: 8,458 千円

【事業概要】

特定農地貸付法に基づき、農地を区が無償で借り上げ、区割りをを行い、園芸を楽しみたい区民に有料で貸与しています。

利用期間1年11月、団体区画約20㎡利用料金は月額換算で4,000円、標準区画約10㎡利用料金は月額換算で2,000円、小区画約5㎡利用料金は月額換算1,000円となっています。

【対象者】

区民(世帯単位)

【令和3年度実績】

5か所、5,208㎡、343区画

農漁業関連事業		農業	
令和4年度予算額	: 466 千円	令和3年度決算額	: 194 千円

【事業概要】

農業者と行政の情報連絡の場（農業振興連絡協議会）を設けます。また、新技術の吸収等、農業経営の改善に資するため、区内JAと共催で優良農業地の実地見学等を実施します。

【対象者】

大田区農業振興連絡協議会、JA所属の区内農家

【令和3年度実績】

農業振興連絡協議会の開催：3回実施

見学会：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

公衆浴場施設改善助成		公衆浴場（銭湯）	
令和4年度予算額	: 44,080 千円	令和3年度決算額	: 34,470 千円

【事業概要】

公衆浴場の転廃業を防止するため、施設等の改善費を区内の公衆浴場に助成し、区民の健康と衛生を確保します。

ア バリアフリー化やレジオネラ菌対策を含む施設改善工事、備品購入に対する助成

補助率2/3、1浴場あたり3か年度で200万円まで助成

イ クリーンエネルギー化等推進に対する助成

補助対象経費から東京都の補助金額を差し引いた残額に対し、補助率2/3、1浴場あたり200万円（LEDシステム照明器具設置については75万円）まで助成（令和4年度から高効率空調機への交換費用も対象に追加）

ウ 耐震化促進に対する助成

補助対象経費から東京都の補助金額を差し引いた残額に対し、補助率2/3、1浴場あたり200万円まで助成

エ 温泉設備メンテナンス等に対する助成

補助率2/3、1浴場あたりで30万円まで助成

オ 高所清掃事業に対する助成

補助率2/3、1浴場あたりで8万円まで助成

カ 健康増進型浴場改築等助成

補助率1/10 1浴場あたり800万円まで助成（改修）

【対象者】

区内の公衆浴場

【令和3年度実績】

23浴場

公衆浴場事業助成		公衆浴場（銭湯）	
令和4年度予算額	: 25,935 千円	令和3年度決算額	: 24,535 千円

【事業概要】

公衆浴場事業の運営を円滑にし、公衆浴場事業の振興と公衆衛生の向上を図るため、東京都公衆浴場生活衛生同業組合大田支部への助成を行います。

ア おおた写真ニュース掲示

イ 大田・川崎共同事業の実施（川崎市との産業連携に関する基本協定に基づく事業）

ウ 各種浴場事業費補助

しょうぶ湯、こども入浴デー（毎月第一日曜日）、ゆず湯（冬至の日）、ぼんたん湯、銭湯まつり（10月10日）、年末年始営業助成、浴場利用促進事業、施設運営費助成、衛生管理助成

【対象者】

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部

【令和3年度実績】

ア おおた写真ニュース掲示委託 33浴場

イ 大田・川崎共同事業 12月11日～2月13日実施

ウ 各種浴場事業費補助 8事業実施

公衆浴場対策研究会（予算計上なし）	公衆浴場（銭湯）
--------------------------	----------

【事業概要】

公衆浴場のこれからのあり方を検討するため、研究会を開催します。

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部との研究会を奇数月に開催

【対象者】

東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部

【令和3年度実績】

年6回開催

計量器定期検査の事前調査（隔年実施）	その他の業種
令和4年度予算額： 284千円	令和3年度決算額 ー

【事業概要】

適正な計量器を確保するため2年に一度、区内の計量器使用事業所を調査し、調査台帳の内容を更新して東京都に報告します（本検査は、東京都計量検定所がこの台帳に基づき実施します。）。

【対象者】

大田区内の計量器を使用する事務所

【令和3年度実績】

事前調査なし

産業団体経営革新支援事業（14頁にも事業説明あり）	人材育成・確保
令和4年度予算額： 3,495千円	令和3年度決算額： 5,688千円

（1）事業承継の取組			
令和4年度予算額：	3,495千円	令和3年度決算額：	3,048千円

【事業概要】

ア 事業承継の取組支援（工業）

平成 31 年度税制改正において、10 年間の限定で個人事業者も事業承継税制の対象となったため、集中して周知を図ります。

なお、事業承継では事業者ごとに状況が異なり、課題が多岐にわたることが予想されます。スムーズな事業承継を実現するため、各種専門家から切れ目のない支援をワンストップで受けられる体制を構築します。

イ 事業承継モデル事業（商業）

経営者や業態が変わっても「“商い“が引き継がれること」で、商店街・商業集積の維持、まちの賑わいづくりに繋げていけるよう、継ぐ側と継ぎたい側を繋げて「継業」を支援する事業承継の相談体制づくりや事業承継にかかる普及啓発を進めます。

※キャリア教育の連携は、令和 3 年度から「ものづくり人材育成事業」で実施

【令和 3 年度実績】

ア 事業承継等情報説明会 1 回

イ セミナー開催：1 回、相談会開催：2 回、実地調査：1 回

(4) 産業振興担当（工業）（電話番号：03-5744-1376）

大田区の産業集積を維持、発展させていくため、ものづくり産業振興全般の政策立案を行い、立地促進を図るとともに、子どもから大人まで全てのステージにアプローチする切れ目ない人材育成事業を展開します。また、自治体間ネットワークの構築や区内企業の優れた技術力を発信する産業PR事業を実施します。

ものづくり集積都市間連携事業（16 頁にも事業説明あり）		情報提供・ネットワーク	
令和 4 年度予算額	： 107 千円	令和 3 年度決算額	： 30 千円

（1）産業のまちネットワーク推進協議会			
令和 4 年度予算額	： 107 千円	令和 3 年度決算額	： 30 千円

【事業概要】

大田区と同じく「産業のまち」と言われている都市が連携し、共同調査、研究、情報交換を通じて産業振興施策の新たな展開を図ります。

※ 加盟都市一覧（全 20 都市）

山形県米沢市、福島県いわき市、新潟県柏崎市、長野県伊那市、長野県諏訪市、長野県岡谷市、長野県坂城町、長野県飯田市、長野県茅野市、群馬県桐生市、群馬県太田市、静岡県富士市、埼玉県さいたま市、神奈川県寒川町、東京都板橋区、東京都八王子市、東京都品川区、東京都大田区、神奈川県相模原市、神奈川県川崎市

【令和 3 年度実績】

総会 1 回、定例会 2 回

区内工場立地・操業環境整備助成事業		ものづくり拠点の形成	
令和 4 年度予算額	： 259,689 千円	令和 3 年度決算額	： 206,265 千円

（1）貸工場・工場用地マッチング事業（予算計上なし）

【事業概要】

貸工場及び工業用地の流通促進を図り工場の立地しやすい環境を整備するため、事業の趣旨に賛同する宅地建物取引業者を「ものづくり応援宅建業者」として登録し、また（公社）東京都宅地建物取引業協会大田区支部の協力を得て、区ホームページで区内物件情報を提供します。

【対象者】

大田区内に立地または移転を希望し、民間貸工場または工業用地についての情報を求めている製造業者

【令和 3 年度実績】

情報提供申請件数 3 件

（2）ものづくり工場立地助成			
令和 4 年度予算額	： 193,173 千円	令和 3 年度決算額	： 159,919 千円

ア ものづくり工場立地助成

【事業概要】

区内で操業を希望する企業が、事業規模の拡張や事業の高度化のために行う工場の新増設等

又は区内及び区外からの移転に係る経費を一部助成することにより、大田区ものづくり集積の維持・強化を図ります。

- 補助率：補助対象経費の 1/3
- 補助限度額：1,000 万円
- 助成期間：3 年(年度ごとに操業状況を確認し交付。1 年目 1/2、2 年目 1/4、3 年目 1/4)

【対象者】

区内で3年以上継続して同一の業種を営む中小企業者、区外で3年以上継続して区が定める業種を営む中小企業者、区内の貸工場所有者

※ 中小企業者：中小企業基本法（昭和 38 年法律第 154 号）第 2 条に規定する中小企業者

【令和 3 年度実績】

- 令和 3 年度新規認定企業数 30 件（内交付済 15 件）
- 1 年目～3 年目交付企業数 62 件

イ 工場アパート立地助成

【事業概要】

工場アパートを整備する民間企業（以下要件(ア)もしくは(イ)に該当する企業）の施設整備費の一部を助成します。

- 要件
 - (ア) 集合型工場アパート（所有者が入居しない工場アパート）
貸工場の作業場面積が 2,000 m²以上で、5 社以上が入居するもの
 - (イ) 地域中核工場アパート（自社工場に貸工場を併設させた工場アパート）
貸工場の作業場面積が 200 m²以上で、2 社以上が入居するもの
- 補助率：補助対象経費の 1 / 4
- 補助限度額：5 億円
- 助成期間：10 年（年度ごとに操業状況を確認し、1 / 10 ずつ交付する。）

【令和 3 年度実績】

交付企業件数 地域中核工場アパート交付 1 件

(3) ものづくり企業立地継続補助金					
令和 4 年度予算額	：	45,000 千円	令和 3 年度決算額	：	19,090 千円

【事業概要】

防音、防臭、防振等の操業環境の改善を目的とした工場の改修事業、周辺環境及び近隣住民へ配慮するために行う工場の移転事業、外観の美化、緑道の整備にかかる経費を助成することにより、大田区ものづくり集積の維持・強化を図ります。

- 補助率：補助対象経費の 3 / 4
- 補助限度額：375 万円

【対象者】

区内に本社又は事業所の登記があり、東京都内で1年以上操業している製造業又は機械修理業の中小企業者、区外（東京都内）で1年以上継続して操業し、区内に移転する製造業又は機械修理業の中小企業者

【令和 3 年度実績】

交付企業件数 7 件

(4) 研究開発企業等拠点整備助成事業					
令和4年度予算額	：	3,000千円	令和3年度決算額	：	9,175千円

【事業概要】

区内で操業を希望するファブレス企業、製造業を営む中小企業及びものづくりサポート企業が、事務所や研究開発施設等の開設若しくは増築・改築又は区内及び区外からの移転を行う際にかかる経費を助成することにより、大田区ものづくり集積の維持・強化を図ります。

- 補助率：補助対象経費の1/3
- 補助限度額：300万円

【対象者】

区内で1年以上継続して同一の業種を、または区外で1年以上継続して同一の業種を営む中小企業者であり、大田区内での操業を希望するファブレス企業、製造業を営む中小企業及びものづくりサポート企業。

【令和3年度実績】

交付企業件数4件

(5) 企業立地促進サポート業務					
令和4年度予算額	：	17,433千円	令和3年度決算額	：	17,462千円

【事業概要】

大田区には、多様な基盤技術を有する中小企業が集積していますが、新規立地スペースの不足等、立地上の課題から、ものづくり企業等が区外へ転出するケースが生じています。今後も、区の産業集積を維持、発展させていくためには、区内企業の留置対策としての「持続的操業支援」及び区外から波及効果の高い「企業誘致」を進めていくこと、受け皿となる「不動産情報を収集」して新規立地・事業拡張意向等のある事業者を紹介し、マッチングを図ることが不可欠です。そのため、区内の中核となっている企業への訪問により、企業が抱える立地上の課題等を把握するとともに、区外企業へのアンケート調査、訪問等を実施し、さらに空き工場・工業用地の調査等により、区内への立地促進を図ります。

あわせて、助成金相談・申請受付を区窓口に加え現場で実施することで、よりきめ細やかな案内を行い、助成金制度の活用促進及び区施策のPRの充実を図ります。

さらに、平成30年3月28日に国から同意を得た地域未来投資促進法における地域経済牽引事業計画の策定について、事業者への活用促進等を実施します。

(6) 地域未来投資促進法に基づく東京都大田区基本計画（予算計上なし）

【事業概要】

東京都と大田区が共同で「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律（地域未来投資促進法）」に基づく「東京都大田区基本計画」を策定し、平成30年3月28日付けで、都内で初めて国から同意を得ました。

- ア 計画名：東京都大田区基本計画
- イ 計画期間：平成30年3月28日から令和4年度末日まで
- ウ 対象地域：東京都大田区
- エ 地域の特性及びその活用戦略
 - 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野

- 東京国際空港（羽田空港）及びその周辺跡地のインフラを活用した成長ものづくり分野
- 東京国際空港（羽田空港）及びその周辺跡地のインフラを活用したクールジャパン発信機能関連産業（文化産業事業）分野

【制度概要】

地域未来投資促進法は、地域の特性を活用した事業の産み出す経済的波及効果に着目し、これを最大化しようとする地方公共団体の取組を支援するものとして、平成 29 年 7 月に施行された法律です。

同法のもと、都道府県と市町村が基本計画を作成して国の同意を得たうえで、事業者が策定する地域経済牽引事業計画を都道府県が承認すると、事業者は、国による各種支援措置が受けられるようになります。

このたび国から同意を得た地域未来投資促進法に基づく「東京都大田区基本計画」は、令和 4 年度末日までを計画期間とします。

本計画では、大田区の「機械・金属加工関連産業の集積」と「東京国際空港（羽田空港）及びその周辺跡地のインフラ」という地域特性を活用し、成長ものづくり分野、クールジャパン発信機能関連産業（文化産業事業）分野において、高い経済的波及効果をもたらすよう、地域外との取引で獲得した需要が本区域に所在する事業者間での取引を通じて地域内に波及して好循環を生む状況を目指してまいります。

（7）先端設備等導入計画の認定事業（予算計上なし）

【事業概要】

平成 30 年 6 月 6 日に施行された生産性向上特別措置法及び令和 3 年 6 月に改正された中小企業等経営強化法に基づき、中小企業者が、区市町村の認定を受けた計画に基づいて先端設備等を導入する際の支援措置をすることで、地域の自主性のもと、生産性向上のための設備投資を促進するものです。

区は、中小企業者が先端設備等を導入し、都内で最も設備投資が活発な自治体の 1 つとなり、更に経済発展していくことを目指して、「導入促進基本計画」の協議書を策定し、国に提出し同意を得ました。内容は以下のとおりです。

- ア 対象者：区内に事業所を有する中小企業者等
- イ 対象区域：区内全域
- ウ 対象業種：全業種
- エ 対象事業：本計画において労働生産性が年平均 3 % 以上に資すると見込まれる事業
- オ 労働生産性に関する目標：先端設備等導入計画を認定した事業者の労働生産性が年平均 3 % 以上向上すること
- カ 先端設備等の種類：労働生産性の向上に必要な生産、販売活動等の用に直接供される設備（機械及び装置、器具及び備品、測定工具及び検査工具、建物附属設備、ソフトウェア）
- キ 導入促進基本計画の計画期間：国が同意した日から 5 年間
- ク 先端設備等導入計画の計画期間：3 年間、4 年間、または 5 年間

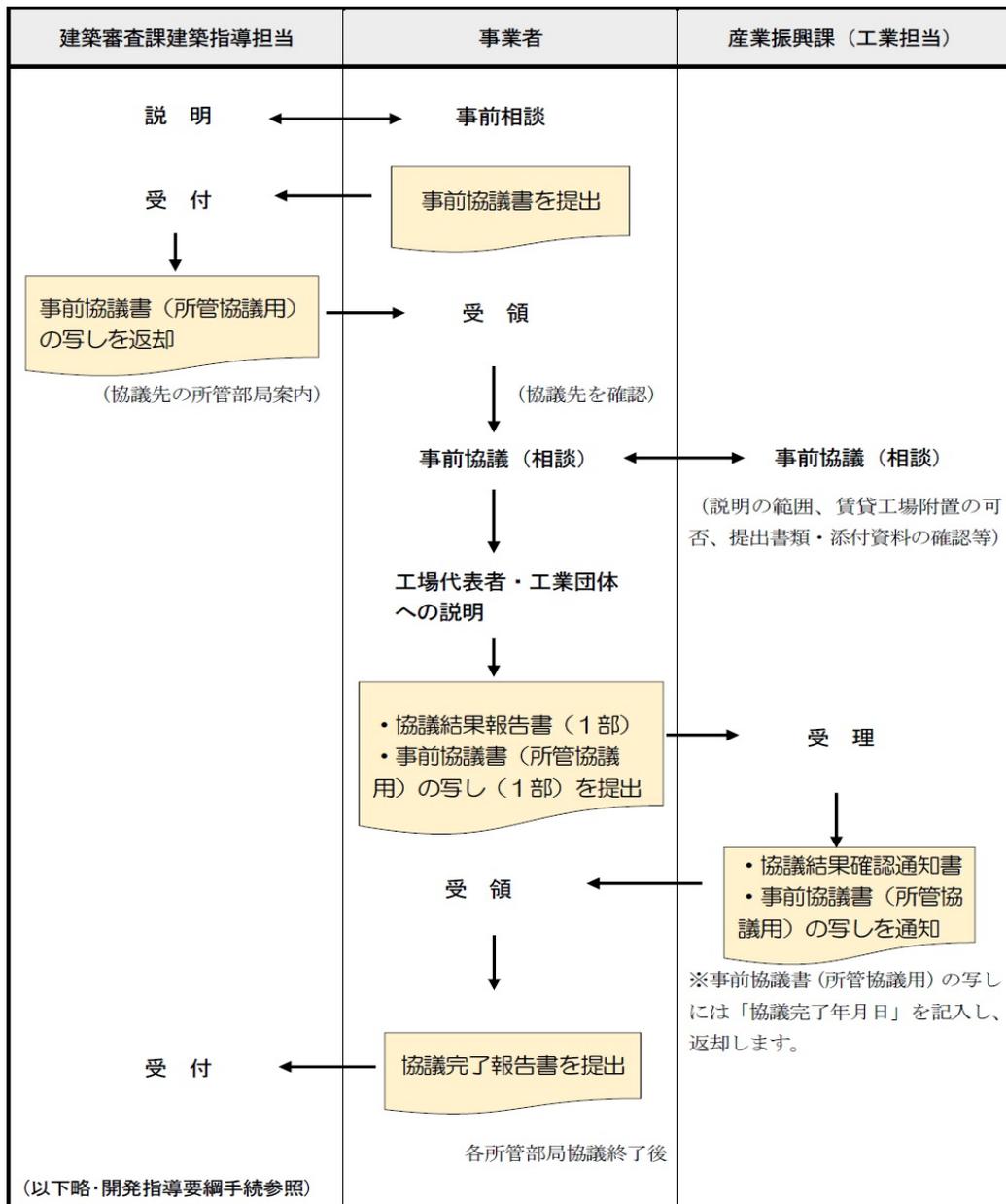
【令和 3 年度実績】

認定企業数 31 件

(8) 工業地域・準工業地域における集団住宅等建設事業に係る調整（予算計上なし）

【事業概要】

住工混在によるトラブルの未然防止と工業の生産環境を保全するため、工業地域・準工業地域に集団住宅等を建設する事業者・集団住宅等入居予定者と建設予定地周辺の工場代表者・工業団体との調整を行います。



【令和3年度実績】

受理件数 43件

ものづくり人材育成事業		人材育成・確保	
令和4年度予算額	： 29,003千円	令和3年度決算額	： 28,375千円

(1) 次世代ものづくり人材育成事業			
令和4年度予算額	： 28,986千円	令和3年度決算額	： 28,356千円

【事業概要】

中小企業が単独で人材育成を行うには、講師や時間の確保など制約が多いため、教育機関や産業団体などと連携し、講習会への助成やセミナーの開催などにより人材育成を支援します。また、小中学生を対象としたものづくりの楽しさを体験できる事業を実施し、将来のものづくり人材を発掘・育成していきます。

【令和3年度実績】

- ・技術指導講習会：8回、参加者81人
- ・次世代経営者育成セミナー：2回、参加者14人
- ・新入社員セミナー：2回、参加者24人
- ・工業団体実地研修会2回：日帰り・1団体18人（コロナにより7団体中止）
宿泊・1団体9人（コロナにより5団体中止）
- ・工業団体経営革新支援事業講習会：10回208人（コロナにより12団体中止）
- ・産業のまちスクール：0回、参加者0人（コロナにより中止）
- ・ものづくり実践教室Ⅰ：3回、参加者100人
- ・ものづくり実践教室Ⅱ：4回、参加者55人
- ・人材育成情報、行政情報の広報：年6回

(2) ものづくり教育・学習フォーラム（予算計上なし）

【事業概要】

教育委員会指導課との連携により、学校でのものづくり学習や近隣の工場などでのものづくり体験など、ものづくりの様々な体験を通し、新たなものを生み出す創造的な価値を一般区民に知らせるとともに、大田区の産業の発展と日本の「ものづくり ひとつづくり くにづくり」の世論形成の推進を図ります。

学習フォーラムにおいては、ものづくり教育・学習発表会、作品・体験学習展示、競技会（木工の部・ソーイングの部）、ものづくり体験への参加等を行います。

【令和3年度実績】

総入場者数2,191名

- ものづくり教育・学習発表会（縮小実施により当日中止、各学校で実施）
小学校10校、中学校5校
- ものづくり作品・体験学習展示発表（縮小実施により当日中止、各学校で実施）
小学校30校、中学校28校（中学校は区連合技術・家庭科展で展示）
- ものづくり体験
参加団体12団体、体験者数356人
- ものづくり競技会（コンテスト）
木工の部10校（23人）、ソーイングの部7校（15人）

産業支援施設指定管理者管理代行		ものづくり拠点の形成	
令和4年度予算額	： 324,019千円	令和3年度決算額	： 351,921千円

(1) 工場アパート等 (管理代行費)			
令和4年度予算額	:	169,355千円	令和3年度決算額
			:
			191,094千円

【事業概要】

工場の操業環境改善による工業集積の維持発展を図るとともに、産業と生活環境との調和など、産業のまちづくりの実現を目指すため、工場アパートを設置しています。また、区内中小企業者の生活の安定と福祉向上のために、中小企業者賃貸住宅を設置しています。

【対象施設】

- 本羽田二丁目工場アパート (指定管理者: 野村不動産パートナーズ株式会社)
 - 所在地: 大田区本羽田二丁目7番1号 (SRC造8階建て)
 - 敷地面積: 1,642.98 m²、延床面積: 1,256 m² (工場棟)、開設年月: 平成9年2月
 - 施設形態: 1階、2階 各4ユニットの賃貸工場 3階から8階区民住宅21戸
 - ユニット: 100 m²×8ユニット
- 本羽田二丁目第2工場アパート (テクノWING)
 - (指定管理者: 野村不動産パートナーズ株式会社)
 - 所在地: 大田区本羽田二丁目12番1号 (SRC造5階建て)
 - 敷地面積: 6,576.54 m² (中小企業者賃貸住宅を含む)、延床面積: 9,464.29 m²
 - 開設年月: 平成12年5月
 - ユニット: 48ユニット (約50 m²から約224 m²まで8タイプ (約100 m²タイプが20戸で最多))
- 大森南四丁目工場アパート (テクノFRONT森ヶ崎)
 - (指定管理者: 野村不動産パートナーズ株式会社)
 - 所在地: 大田区大森南四丁目6番15号 (RC造5階建て)
 - 敷地面積: 5,945.41 m²、延床面積: 10,730.89 m²、開設年月: 平成20年5月
 - ユニット: 49ユニット (約47 m²から約335 m²まで9タイプ (約100 m²タイプが22戸で最多))
- 東糞谷六丁目工場アパート (OTAテクノCORE) (建物所有者: みずほ信託銀行株式会社)
 - ※大田区が借上げ、工場、研究開発拠点として貸し出します。
 - 所在地: 大田区東糞谷六丁目4番17号 (RC造4階建て)
 - 敷地面積: 4,257.68 m²、延床面積: 8,488.65 m²、開設年月: 平成24年6月
 - ユニット: 33ユニット (約90 m²から約228 m²まで11タイプ (約200 m²タイプが23戸で最多))
- 下丸子テンポラリー工場 (指定管理者: 野村不動産パートナーズ株式会社)
 - 区内工場建替え期間中の仮作業所 (一時操業場所) として貸し出しています。
 - また、工場建替えの場合以外でも以下のいずれかを満たしていれば申請が可能な場合があります。
 - (1) 組立用等で仮作業場を必要としている者
 - (2) 急な受発注増等で仮荷物置場等を必要としている者
 - (3) 立ち退き要請等により仮作業場を必要としている者
 - (4) 火事等の災害により仮作業場を必要としている者
 - (5) 産学連携等で開発現場等を必要としている者
 - 所在地: 大田区下丸子四丁目9番14号 (RC造2階建て)
 - 敷地面積: 400.00 m²、延床面積: 339.50 m²、開設年月: 平成6年4月

施設形態：1階、2階各2ユニットの建替促進賃貸工場

ユニット：84.5㎡×4ユニット

- 中小企業者賃貸住宅（ウイングハイツ）（指定管理者：野村不動産パートナーズ株式会社）

所在地：大田区本羽田二丁目12番2号（SRC造7階建て）

敷地面積：6,576.54㎡（本羽田二丁目第2工場アパートを含む）、延床面積：2,245.15㎡

開設年月：平成12年8月

住戸数：28戸（1DKタイプ8室、3DKタイプ20室）

【担当・問い合わせ】

入居希望・施設管理：野村不動産パートナーズ株式会社

- 本羽田二丁目工場アパート、本羽田二丁目第2工場アパート、下丸子テナポラリー工場、
中小企業者賃貸住宅 電話：03-5735-3230 FAX：03-5735-3231
- 大森南四丁目工場アパート 電話：03-5735-1140 FAX：03-6905-7030
- 東糀谷六丁目工場アパート 電話：03-5735-3660 FAX：03-5735-3667

（2）大田区南六郷創業支援施設（管理代行費）					
令和4年度予算額	：	154,664千円	令和3年度決算額	：	160,826千円

【事業概要】

新規創業者や新分野進出等に取り組む事業者が新規創業をしやすい環境を整え、区内産業の発展や操業機運醸成のために、創業支援施設「六郷BASE」を令和3年10月に開設しました。

【対象施設】

- 大田区南六郷創業支援施設（指定管理者：南六郷創業支援施設運営共同事業体（代表企業：株式会社ツクリエ、構成企業：野村不動産パートナーズ株式会社））

所在地：大田区南六郷三丁目10番15号（RC造3階建て）

敷地面積：1,349.30㎡延床面積：578.39㎡、開設年月：令和3年10月

主な施設：3階個室、2階シェアードオフィス、コワーキングスペース、1階オープンスペース、セミナールーム、試作室

【担当・問い合わせ】

入居希望・施設管理：六郷BASE運営事務局（株式会社ツクリエ） 電話：03-6715-9751

産業支援施設その他の維持管理費		ものづくり拠点の形成			
令和4年度予算額	：	537,584千円	令和3年度決算額	：	493,036千円

（1）旧羽田旭小学校敷地の整備					
令和4年度予算額（執行委任）	：	18,699千円	令和3年度決算額	：	19,976千円

【事業概要】

令和3年3月に使用終了した創業支援施設「BICあさひ」を含む旧羽田旭小学校施設及び敷地の活用方法について検討を行います。

検討に当たっては、産業支援施設としての需要や社会情勢を考慮し、ニーズが高い活用方法となるよう整備方法も含めて整理していきます。

(2) インダストリアルパーク羽田大田区産業施設 (Techno Square Haneda)			
令和4年度予算額：	239,087 千円	令和3年度決算額：	196,317 千円

【事業概要】

区の産業集積の維持・発展に資するため、羽田空港に近接した「三井不動産インダストリアルパーク羽田」内に産業支援施設を設置しています。製造業を中心とした工場、研究所等といった業態が立地することで、区内の高度なものづくり技術集積との連携が促進され、立地企業の成長に寄与するとともに、区内全体のものづくり企業の維持・発展に結び付けます。

【対象施設】

- 三井不動産インダストリアルパーク羽田 大田区産業施設 (Techno Square Haneda)
(建物所有者：三井住友信託銀行株式会社)

※大田区が借上げ、工場、研究開発拠点等として貸し出します。

所在地：大田区羽田旭町10番11号 (S造・ブレース付ラーメン構造 (免震構造))

延床面積：5,739.11 m² (大田区専有部分)、開設年月：令和元年12月

施設形態：1階、2階 各2ユニット

ユニット：4ユニット (101、102、201、202) 約1,000 m²～1,200 m²

(3) 京浜島建替促進事業用車両一時保管施設			
令和4年度予算額：	—	令和3年度決算額：	0 千円

【事業概要】

大田区京浜島建替促進事業用地について民間事業者と土地賃貸借契約を締結し、島部ものづくり中小企業の建替促進事業に供する車両一時保管場所として令和2年3月1日から運営を開始しました。

(4) 大田区創業支援施設等			
令和4年度予算額：	9,078 千円	令和3年度決算額：	11,851 千円

【事業概要】

新規創業者や新分野への進出に取り組む事業者及び区内中小企業の新産業分野進出や新技術の実用化を目的とした研究開発事業を支援し、地域産業の活性化を図るため、創業支援施設等を運営しています。

なお創業支援施設「B I Cあさひ」は令和3年3月に、産学連携施設は令和3年5月に使用終了となりました。

【対象施設】

- 旧創業支援施設 (旧B I Cあさひ)
所在地：大田区羽田旭町7番1号 (RC造3階建て)
敷地面積：2416.32 m²、延床面積：3,046.73 m²
開設年月：平成15年5月、使用終了年月：令和3年3月
- 旧産学連携施設
所在地：大田区蒲田二丁目10番1号 (RC造2階建て)

敷地面積：6,141.00 m²、延床面積：1,715.10 m²

開設年月：平成18年8月、使用終了年月：令和3年5月

○ 新産業創造支援施設

所在地：大田区南六郷三丁目15番10号（RC造2階建て）

敷地面積：1,349.30 m²延床面積：578.39 m²、開設年月：平成18年4月

施設形態：1階2ユニット、2階1ユニット 旧南六郷土木事務所を改装し活用

事業承継の取組 （25頁に記載あり）		人材育成・確保	
令和4年度予算額	： 3,495 千円	令和3年度決算額	： 5,688 千円

(5) 産業振興担当（交流）（電話番号：03-5744-1641）

「羽田空港跡地まちづくり推進計画」に基づく羽田空港跡地第1ゾーンにおける産業交流施設の実現に向け、整備に係る事業の展開及び関係機関等との調整を行っています。

羽田空港跡地における産業交流拠点の形成（17頁にも事業説明あり）		ものづくり拠点の形成	
令和4年度予算額	： 442,618千円	令和3年度決算額	： 484,865千円

（1）空港跡地関連業務委託等			
令和4年度予算額	： 378,418千円	令和3年度決算額	： 384,220千円

【事業概要】

平成27年7月策定の「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」において、官民連携により世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成し、産業交流施設に先端産業分野の企業誘致や起業・ベンチャー支援、協創プロジェクトの推進などの機能を位置付けました。

令和2年7月に開業した産業交流施設「HANEDA×PiO（ハネダピオ）」にて、多様な交流機会を創出する取組みを進めています。

【令和3年度実績】

令和3年10月には交流空間ゾーン「PiO PARK（ピオパーク）」の稼働が開始し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、アライアンスパートナーとの連携やモニター利用者の誘致等を進めました。

テナントゾーンは、全17区画の入居が決定しました。本ゾーンにおいては、入居テナント間の交流会開催等を通じた相互交流や区内企業との連携創出に関する取組みを実施しました。

（2）HANEDA×PiOをHUBとした新産業創造・発信エコシステムの構築に向けたモデル事業実装委託			
令和4年度予算額	： 23,700千円	令和3年度決算額	： 19,735千円

【事業概要】

羽田イノベーションシティ内「HANEDA×PiO」のPiO PARK（交流空間）の利用拡大及び同空間をHUBとした新産業創造・発信エコシステムの構築に向け、モデル事業を公募し、当該事業の積極的な外部プロモーションを実施します。

【令和3年度実績】

公募により2件の事業を採択し、PiO PARKでの実装に向け、モデルとなる事業を実施する上での課題やニーズを調査し、PiO PARKに相応しい事業の提案をまとめ、提案事業を実験的に実施しました。あわせて、その取組内容を広く発信するため公募によりプロモーション事業も実施しました。

(6) 融資係（電話番号：03-3733-6185）

区内の中小企業者が経営の安定や改善、設備の向上等のために必要な資金を低利で利用できる各種融資を金融機関へあっせんしています。

また、日本政策金融公庫や商工会議所等と連携して資金調達が多様化を図り中小企業者の事業経営を資金面から支えることで、区内産業の活性化・競争力強化につなげていきます。

中小企業融資		資金調達の支援	
令和4年度予算額	： 1,665,880 千円	令和3年度決算額	： 1,583,108 千円

(1) 中小企業融資あっせん制度			
令和4年度予算額	： 1,647,815 千円	令和3年度決算額	： 1,571,839 千円

【事業概要】

経営改善や設備の向上等に必要事業資金の低利融資を金融機関にあっせんし、支払利子等を補助します（区が直接融資する制度ではありません。金融機関等の審査によっては融資が受けられない場合があります。）。

主な資金	融資限度額	返済期間	名目利率	利子補給率	本人負担率
一般運転資金	2,000 万円	84 か月以内	1.8%以下	1.2%	0.6%以下
利子補給加算(※2)				1.6%	0.2%以下
一般設備資金	3,000 万円	108 か月以内	1.8%以下	1.2%	0.6%以下
開業資金	2,000 万円	84 か月以内	1.8%以下	1.4%	0.4%以下
商店街空き店舗活用 ものづくり事業				全額	なし
経営改善一本化資金	2,500 万円	84 か月以内	1.8%以下	1.2%	0.6%以下
経営強化資金	1,000 万円	84 か月以内	1.5%以下	1.3%	0.2%以下
小規模企業 特別事業資金	300 万円	60 か月以内	1.5%以下	1.3%	0.2%以下
チャレンジ企業 応援資金	5,000 万円	108 か月以内	1.5%以下	全額	なし
新型コロナウイルス対策 特別資金(※3)	5,000 万円	108 か月以内	1.5%以下	全額	なし

※1 金利は令和4年4月1日現在。すべて固定金利。

※2 令和3年9月1日から申込受付開始。申込受付締切は令和4年3月31日から当面の間延長。

※3 新型コロナウイルス対策特別資金は令和3年8月31日までで申込受付終了。

※4 区があっせん制度と都の融資制度の要件を満たす方は、区の利子補給と都の信用保証料補助を併用できる場合があります。

【対象者】

区内の中小企業者、区内での開業予定者（※その他一定の要件を満たすことが必要です。）

【令和3年度実績】

あっせん件数：3,708件、あっせん金額：468億4,375万円

(上記のうち、新型コロナウイルス対策特別資金 1,262件、229億8,190万円

一般運転資金(利子補給加算) 1,218件、136億3,220万円)

(2) 小規模事業者経営改善資金(マル経融資) 利子補給制度					
令和4年度予算額	：	8,169千円	令和3年度決算額	：	4,636千円

【事業概要】

(株)日本政策金融公庫大森支店で貸付を行っている「小規模事業者経営改善資金(マル経融資)」の利用者を対象に、貸付日から3年間に支払った利子の40%相当額(令和2年4月交付決定分)を補助します。

【対象者】

東京商工会議所大田支部の推薦を受け、(株)日本政策金融公庫大森支店から「小規模事業者経営改善資金(マル経融資)」の貸付を受けた区内中小企業者

【令和3年度実績】

利子補給件数：355件、利子補給額：4,636千円

(3) 新創業融資資金利子補給制度					
令和4年度予算額	：	7,529千円	令和3年度決算額	：	6,633千円

【事業概要】

(株)日本政策金融公庫大森支店で貸付を行っている「新創業融資制度」の利用者を対象に、貸付月から最大3年間に支払った利子の50%相当額を補助します。

【対象者】

(株)日本政策金融公庫大森支店から「新創業融資制度」の貸付を受けた区内中小企業者

【令和3年度実績】

利子補給件数：191件、利子補給額：6,633千円

(4) 事業承継資金利子補給制度					
令和4年度予算額	：	2,367千円	令和3年度決算額	：	0千円

【事業概要】

(株)日本政策金融公庫大森支店で貸付を行っている「事業承継・集約・活性化支援資金」の利用者を対象に、貸付月から最大3年間に支払った利子の50%相当額を補助します。

【対象者】

(株)日本政策金融公庫大森支店から「事業承継・集約・活性化支援資金」の貸付を受けた区内中小企業者

※ 令和3年10月1日より制度開始。

2 観光課

(1) 観光振興担当（電話番号：03-5744-1322）

新しい日常に基づく「区内経済活性化」、「シビックプライドの醸成」、「区の魅力度・知名度の向上」を柱に、自然や歴史そして人々の営みなどの区の魅力を活かす施策に取り組み、庁内各部署や事業者、団体、そして区民と一層の連携を行い、人と繋がる観光のまちづくりを進めてまいります。

来訪者受け入れ環境の整備		観光振興事業	
令和4年度予算額	： 5,586 千円	令和3年度決算額	： 11,441 千円

(1) 大田区ウェルカムショップ・まちかど観光案内所等への支援			
令和4年度予算額	： 1,943 千円	令和3年度決算額	： 3,027 千円

【事業概要】

来訪者に区内で快適に滞在していただき、食事や買い物を楽しんでいただくことを目的として、区が提供する支援メニューを活用して国内外からの来訪者を積極的に受入れる店舗・施設を「大田区ウェルカムショップ」として登録しています。また、来訪者が区内のあらゆる場所で手軽に観光情報を入手できることを目的として、観光マップやパンフレットの配布、近隣の簡単な案内等にご協力いただける店舗・宿泊施設等を「大田区まちかど観光案内所」として登録しています。

令和4年度は、来訪者にもわかりやすく「大田区ウェルカムショップ」と「大田区まちかど観光案内所」を統合し、登録店舗に総合的な支援を行います。

【対象者】

- ・訪日外国人、区内外からの来訪者

【令和3年度実績】

- ・大田区ウェルカムショップ：284 か所
 - ・大田区まちかど観光案内所：308 か所、うち区施設 73 か所 ※令和4年3月31日現在
- 3年度は、ウェルカムショップ：19 か所、まちかど観光案内所：26 か所を新規登録した。

(1) 登録店舗・施設の拡充

(2) OTA トライアルコーナー設置

(2) 観光案内サイン推進事業			
令和4年度予算額	： 15 千円	令和3年度決算額	： 266 千円

【事業概要】

外国人旅行者や障がい者、高齢者など誰もが、安心して区内を回遊し、観光やまち歩きを楽しんでいただくことを目的として、観光案内サインを整備しています。観光案内サインには、観光資源や観光拠点等を日本語だけでなくピクトグラム・記号、多言語でも表記しているほか、観光情報や防災情報などにリンクするQRコードを掲出して、様々な情報提供を行っています。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民及び訪日外国人

【令和3年度実績】

- ・観光案内サイン 52 基の盤面修正を行いました。

(3) 大田区観光紹介用パンフレット					
令和4年度予算額	:	3,628千円	令和3年度決算額	:	3,017千円

【事業概要】

区民及び区内滞在者に対し区内の魅力を発信し、区内回遊及び区内消費拡大を促進することを目的として様々な観光紹介用パンフレットを作成しています。今年度は、引き続き観光紹介用パンフレットを最新情報に更新のうえ、増刷し、多言語パンフレットについてはJNTOの海上発送を活用してPRを行います。また、観光協会と区のパンフレットの重複について一定の基準での整理を行います。

【対象者】

- ・訪日外国人、区外からの来訪者、区民

【令和3年度実績】

- (1) 「大田区観光ガイド」(日本語版)の一部改訂及び増刷
 - ア 大田区観光ガイドVo1.1「水辺で遊ぼう」
 - ・作成部数：10,000部
 - イ 大田区観光ガイドVo1.2「ロケ地探訪」
 - ・作成部数：10,000部
 - ウ 大田区観光ガイドVo1.3「スイーツ」
 - ・作成部数：10,000部
- (2) 「大田区観光ガイドマップ」(日本語版)の一部改訂及び増刷
 - ・作成部数：10,000部
- (3) 蒲田ガイド(日本語版)の一部改訂及び増刷
 - ・作成部数：5,000部

観光まちづくりの支援		観光振興事業			
令和4年度予算額	:	51,275千円	令和3年度決算額	:	30,775千円

(1) 一般社団法人 大田観光協会補助事業					
令和4年度予算額	:	51,275千円	令和3年度決算額	:	30,775千円

【事業概要】

(一社)大田観光協会の実施する事業を支援することで、民間視点での区内経済活性化・地域活性化を取り入れた観光事業振興を行います。

※詳細はP.71「第7 一般社団法人大田観光協会の事務事業」参照。

おおたの観光魅力発信事業		観光振興事業	
令和4年度予算額	： 16,444 千円	令和3年度決算額	： 11,231 千円

(1) 広域連携事業			
令和4年度予算額	： 2,900 千円	令和3年度決算額	： 1,900 千円

【事業概要】

川崎市・品川区・神奈川県等をはじめとした多様な自治体や民間企業と連携し、共同で情報発信を行うことで相乗効果を狙い、区内への誘客やにぎわいの創出につなげます。

1、神奈川県との合同プロモーション事業

羽田空港を起点とし、外国人観光客のニーズが高いジャンルに焦点を当てたプロモーションを実施します。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、訪日外国人

【令和3年度実績】

- (1) 中国、台湾、米国、英国及び豪州をターゲットとしたWEBプロモーション事業
- (2) 中国及び台湾のインフルエンサーをターゲットとしたオンラインセミナー事業

2、周辺地域との連携事業

品川区・川崎市と連携し、羽田空港周辺に特化した外国人観光客向けの情報発信を行います。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、訪日外国人

【令和3年度実績】

中国、台湾をターゲットとしたWEBプロモーション事業

3、多様な主体による地域PR事業

観光資源の一部を共有する品川区と連携して、相乗・発信効果を高め、近隣諸都市からの区への誘客、にぎわいの創出を図ることを目的として、事業を実施します。

【対象者】

- ・区内外からの来訪者

【令和3年度実績】

- ・開催期間

11月1日～11月30日

- ・イベント内容

令和3年12月の東急池上線長原駅の駅舎リニューアルを契機に洗足池や旗の台などの周辺エリアの活性化を目的とし、両区の協力店舗と観光スポットを紹介した冊子マップを制作しました。東急電鉄駅構内に設置しているインフォメーションポケットなどで無料配布し、マップを用いた商店街に散らばる文字探しイベントの開催や協力店舗への冊子マップの提示による各店舗独自のプレゼンテーションを実施するなど区内外からの誘客へ寄与することができました。

- ・文字探しイベントの景品応募者数
606名（はがき：320名、WEB：286名）

4、川崎市連携事業

大田区・川崎市との「観光まちづくり連携事業実行委員会」を中心に、両都市共通の魅力を柱とした観光PRや新たな集客等に向けて、協力関係を強化しながら事業を実施しています。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民

【令和3年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) MICE推進事業					
令和4年度予算額	:	6,240千円	令和3年度決算額	:	650千円

【事業概要】

区内における地域経済の活性化、シティセールス、観光・国際交流、文化、スポーツ、産業振興等を図ることを目的とし、大田区の得意とする中小規模の多様な会議に対応したMICE(※)を中心に誘致を行い、区内における地域経済の活性化と併せて区の認知度向上にもつなげます。

※MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

【対象者】

- ・区内外のMICE主催者及び参加者、区民

【令和3年度実績】

- (1) 大田区MICE誘致準備会 1回(オンライン実施)
- (2) 大田区MICE開催支援助成金の交付 1件
- (3) OTA Medical MICE Projectの始動(産業振興課・産業振興協会との連携)

臨床工学技士の告示研修の区内実施に際し、産業振興協会が研修生へ向けた区内飲食、土産、宿泊情報を提供するサイト「うえるかむOTA」をオープンしました。観光課は区内の宿泊施設の情報をサイトへ掲載し協力しました。

(3) メディアを活用した観光情報等の発信					
令和4年度予算額	:	1,716千円	令和3年度決算額	:	3,652千円

【事業概要】

平成27年度より大田区の認知度向上、興味・関心の喚起を目的として、多言語対応の公式観光サイトを運営しています。当面の間、区民や近隣諸都市からの来訪者を対象としたマイクロツーリズムに焦点を当てた観光情報を発信しています。

※令和4年度、当該サイトは一般社団法人大田観光協会が運営するサイトと統合予定です。

大田区公式観光サイト

- ・対応言語：日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・タイ語・フランス語
- ・URL：https://ota-tokyo.com/ja

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民、在住外国人、訪日外国人

【令和3年度実績】

- ・年間延べページビュー数：345,089件
- ・コンテンツ投稿数：24回

(4) 大田区観光PR特使事業					
令和4年度予算額	：	107千円	令和3年度決算額	：	19千円

【事業概要】

大田区の魅力を区の内外に発信することを目的として、区にゆかりがあり、文化・芸術、芸能、スポーツ等各界で活躍・活動している個人16人及び3団体等に「大田区観光PR特使」を委嘱しています。それぞれの活躍の場や機会を通じて、区の魅力を広く発信してもらうことで、区の認知度向上や観光振興を図っています。

【対象者】

- ・訪日外国人、在住外国人、区外からの来訪者、区民

【令和3年度実績】

(1) シクラメン

大田区民プラザでのライブ開催を記念して、大田区公式PRキャラクター「はねびょん」と下丸子のまちを紹介する「はねびょんさんぽ下丸子PR編」に出演し、下丸子周辺のスポットを紹介しました。

(2) 東京羽田ヴィッキーズ女子バスケットボールクラブ

試合時における観光パンフレットの配布や、区内商店街との連携、地域イベントへの積極的な参加、大田区シティプロモーションサイト「UniqueOta」のインタビュー取材の協力など大田区をPRしました。

(3) アースフレンズ東京Z

試合時にPRブースを設置し、観光パンフレットの配布などを行い、全国各地で大田区をPRし、区立小中学校におけるスポーツ教育支援や区内産学連携の取組等、地域における貢献活動を行いました。

(4) はねびょん

「ご当地キャラ成田詣～そらいち～」、「世界キャラクターさみっと in 羽生【生配信イベント】」での動画放映、「はすびいお誕生会 2021」インスタライブへの参加、シクラメンワンマンライブ「シクライブ 2022 Reboot～La 3P Prima Volta♡」への参加により、区内外に向けた大田区のPRを行いました。

観光PR特使の各活動分野で大田区の魅力発信に寄与し、認知度向上及び誘客を図りました。

(5) 大田の魅力を活用した地域にぎわい事業（大田・品川連携はR3年度より分離）					
令和4年度予算額	：	1,500千円	令和3年度決算額	：	2,192千円

【事業概要】

大田区に関連のある映画・ドラマ作品又は区内の観光資源等を活用し、マイクロツーリズムの推進による区の認知度向上、区への誘客及び回遊・消費向上につなげることを目的として、地域PR事業を実施します。また、区民の地域に対する愛着・誇りを高める取組を行い、新型コロナ収束を見据え、区民による区外に向けた大田区観光推奨を促します。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民、訪日外国人

【令和3年度実績】

田園調布・洗足池エリアPR事業「おーたの麺散歩」

- ・開催期間 1月15日～2月13日
- ・イベント内容

勝海舟記念館や多摩川台公園・洗足池・洗足流れなど調布エリアの魅力ある文化ならびに自然観光資源の認知度向上及び地域店舗を中心とした区内経済の活性化を目的として東急蒲田駅発多摩川線・池上線沿線や中原街道沿いの『ラーメン店』を活用したイベントを実施しました。特典付きのスタンプラリー形式により地域の回遊性向上を図り、区内外からの誘客へ寄与することができました。

- ・協力店舗数 11店舗
- ・参加者数 延べ2,606人

(6) 観光PRのための展示及びPRツール等の制作					
令和4年度予算額	：	699千円	令和3年度決算額	：	527千円

【事業概要】

区の認知度向上及び誘客を目的として、展示物・ノベルティの制作やイベント等の出展を行い、内外に向けて大田区の魅力を広く発信します。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民、訪日外国人

【令和3年度実績】

大田区観光情報センターなどのイベントで配布するノベルティとして大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の消せるボールペンを製作しました。

(7) 「空の日」に実施する羽田空港イベントとの連携事業					
令和4年度予算額	：	1,000千円	令和3年度決算額	：	100千円

【事業概要】

大田区は、平成29年3月に「国際都市おおた」を宣言し、「未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現に向けて、「観光の魅力」「多文化共生の大切さ」「産業の力強さ」を結集し、「地域の力」を活かして推進しています。

羽田空港「空の日」記念行事と連携することで、「国際都市おおた」をより広く国内外にアピールするとともに、来場した区民の皆様が「世界とつながるおおた」を体感し、大田区への誇り・愛着をいただけるよう取り組みます。

【対象者】

- ・区内外からの来訪者、訪日外国人

【令和3年度実績】**(1) 羽田空港「空の日」記念行事イベント**

新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、集客を伴うイベントは中止となりました。

(2) 羽田空港「空の日」フェスティバル 2021 スペシャル動画作成

羽田空港における新型コロナウイルス感染対策の取り組みと現状を紹介する動画を作成し、コロナ禍においても安心安全に空の旅ができることを周知しました。

(8) 大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」の活用

令和4年度予算額	： 1,635 千円	令和3年度決算額	： 1,402 千円
----------	------------	----------	------------

【事業概要】

大田区の魅力を内外に発信し、シティプロモーションを推進するとともに、区民のわがまちへの愛着を高めることを目的として、大田区公式 PR キャラクター「はねぴょん」を積極的に活用します。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民

【令和3年度実績】

- ・Twitter フォロワー数：4,570 件（令和4年3月31日現在）
- ・着ぐるみ貸出件数：57 件
- ・デザイン使用申請件数：495 件
- ・グッズ販売場所：22 か所

(9) おおたプライド事業「大田区学」

令和4年度予算額	： 488 千円	令和3年度決算額	： 171 千円
----------	----------	----------	----------

【事業概要】

まちの魅力や再発見を通じて、区民一人ひとりのシビックプライドの醸成につなげ、区民自らが大田区の良さを区内外に PR することにより、大田区ファンや区への来訪者を増やすことを目的とした事業です。身近にありながら気づかなかつた、大田区の歴史・文化・名所・伝統・食といった幅広い分野に潜む奥深い魅力を講座やクイズにして、楽しく学べるようにしていきます。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民

【令和3年度実績】

- ・ミニミニ講座
大田区 YouTube チャンネルにて配信 6 件。総再生回数：9,100 回
- ・大田区学クイズ
ミニミニ講座で取り扱った内容について、クイズを大田区 YouTube チャンネルにて配信 3 件。
- ・ロゴ制作
日本工学院専門学校デザインカレッジデザイン課の協力により、大田区学ロゴを制作。

(10) 区内探訪「はねびよんさんぽ」					
令和4年度予算額	：	156千円	令和3年度決算額	：	156千円

【事業概要】

区内魅力の再発見、シビックプライドの醸成、区内経済活性化を目的として、大田区公式PRキャラクター「はねびよん」が、区内の観光スポットや商店街等を巡り、地域の方々との交流を深めながら街の魅力を紹介します。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民

【令和3年度実績】

Youtube 動画配信 5件

5月：銭湯、7月：餃子、9月：羽田ヴィッキーズ、12月：大田清掃工場、1月：下丸子
総再生回数：7,500回

観光情報センター等の運営		観光振興事業			
令和4年度予算額	：	55,907千円	令和3年度決算額	：	55,587千円

(1) 大田区観光情報センターの運営					
令和4年度予算額	：	53,947千円	令和3年度決算額	：	53,949千円

【事業概要】

京急蒲田駅直結の商業施設内にある大田区観光情報センターは、国内外からの旅行者をはじめとした区内への来訪者誘客及び観光情報の発信を目的として、「来訪者と『まち・ひと』をつなぐ観光拠点」をコンセプトとした観光案内所です。現在はマイクロツーリズム推進の下、来訪者に対し、区内の様々な場所を案内することで、回遊性の向上を図るとともに、区内の多種多様な物品やお土産等の展示・販売を通じ区民ならびに近隣諸都市の皆様にも大田区の魅力を再発見していただいています。

- ・名称：大田区観光情報センター
- ・住所：大田区蒲田四丁目50番11号 ウィングキッチン京急蒲田M2F
- ・営業時間：9：00～21：00（年中無休）
- ・電話：03-6424-7288
- ・URL：<https://tokyoactivity.com/ja/>
- ・開設日：平成27年12月11日（金）
- ・サービス内容：
 - ア 多言語による大田区の観光案内
 - イ 展示・物販を通じた大田区の観光・食・技術のPR
 - ウ 茶道、華道、折り紙体験等の日本文化体験の実施（新型コロナウイルスの影響で休止中）
 - エ イベント等を通じた区民と来訪者の来館促進

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民

【令和3年度実績】

- ・来場者数 35,374人（うち外国人187人）
- ・観光相談件数 812人（うち外国人75件）
- ・文化体験利用者数 0人（令和3年1月より新型コロナウイルスの影響で休止中）
- ・物販売上実績 13,718,905円
- ・実施企画：企画展・イベント等 8回

新型コロナウイルス感染症の流行による渡航制限及び外出自粛の影響により来館者数が大幅に減少しているものの、令和3年度は物販やマンホールカード、イベント等を目的とした来館が増加し、前年度に比べ利用状況が回復しました。

具体的な取り組みとしては「おおたの逸品」にも選出されている仲六郷の「肉のいのせ」のシューマイの定期販売や、ヌードルツアーズの冷凍ラーメン自販機の期間限定設置を行うなど区民を始め多くの方に来館いただきました。

また、大田区観光PR特使「シクラメン」のライブ会場にも出店し、区内の産品販売や観光情報の発信に注力しました。

（2）羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナーの運営

令和4年度予算額	：	1,958千円	令和3年度決算額	：	1,592千円
----------	---	---------	----------	---	---------

【事業概要】

パンフレットの配架、産業関連の展示を通じて、大田区への誘客を図ることを目的に、羽田空港第3ターミナル2階国際線到着ロビーに大田区の観光情報コーナーを設置しています。また、このコーナーを通じて東京観光財団が運営する東京観光情報センターと大田区観光情報センターとの連携も行っています。

【対象者】

- ・訪日外国人、区外からの来訪者、区民

【令和3年度実績】

（1）羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナー

パンフレットの配架や観光関連の展示を通じて、大田区内の観光情報を発信し、認知度向上に努めました。

*新型コロナの影響で一時営業中止（令和3年1月9日から6月30日、令和4年1月11日から3月21日まで）

（2）池上駅大田区観光情報コーナー

令和3年3月から設置。パンフレットの配架、イラストマップの展示、デジタルサイネージを通じて、大田区内の観光情報を発信し、認知度向上ならびに誘客を図りました。

（3）新井宿特別出張所観光情報コーナー

平成26年度から設置。パンフレットの配架、展示等で観光情報を発信。

令和3年度は観光情報コーナー案内板用ポスターが老朽化のため、作り直しました。

大田区観光推進協議会の運営

令和4年度予算額	：	4千円	令和3年度決算額	：	0千円
----------	---	-----	----------	---	-----

【事業概要】

区内観光関連事業者・関連機関との連携を図り、大田区の観光振興を推進することを目的とし、情報交換等を行っています。会員間の連携を強化するとともに、大田区の観光魅力の創出や誘客、回遊促進の検討を行います。

【対象者】

- ・区内観光関連事業者・関係機関

【令和3年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

大田区における撮影支援・協力（予算計上なし）**観光振興事業****【事業概要】**

大田区の認知度向上と新たな観光資源の開拓を目的とし、CM・ドラマ・映画等の区内撮影に対してロケ支援を行っています。これまでも東宝映画「シン・ゴジラ」、TBS テレビドラマ「集団左遷」や「下町ロケット」、WOWOW オリジナルドラマ「TOKYO VICE」等での撮影支援を行ってきました。今後も制作会社等への協力を行うとともに、東京ロケーションボックスほかと連携し、大田区の露出を増やし、魅力度向上に努めていきます。

【対象者】

- ・区外からの来訪者、区民

【令和3年度実績】**(1) 撮影支援・協力**

WOWOW オリジナルドラマ「TOKYO VICE」（大田区立消費者生活センター）

(2) 情報提供・ロケーション紹介

- ・松竹映画
- ・テレビCM
- ・有名ミュージシャンMV撮影
- ・テレビ朝日まちあるき番組
- ・テレビ東京地域紹介番組 等

(3) ロケ相談 26件

第6 公益財団法人大田区産業振興協会の事務事業

※記載している事業は「主な事業」です。

※社会経済情勢の変化などを受けて、変更になる場合があります。

※記載の予算・決算額を積算しても端数処理等により、実際の事業予算・決算額と一致しない場合があります。

※各事業枠内の予算・決算額のうち、(補)は区補助金を充当した額を示しています。また、(委)は区が委託した事業で区委託料により実施した事業。(利)は利用料金制度により利用料収入を財源として実施した事業です。

1 総務デパートメント

(1) 総務セクション（電話番号：03-3733-6466）

理事会及び評議員会等の運営、協会予算及び決算のとりまとめ等、並びに財産の管理等の公益財団法人の運営に必要な事務全般を分掌します。

また、庶務事務として、財務会計・人事服务等の事務を行うほか、企画立案、進捗管理及びその調整と改善を行い、職員力と組織力の強化に取り組みます。

2 情報化推進デパートメント

(1) 情報化推進セクション（電話番号：03-3733-6404）

① 情報化推進

中小企業情報化支援、情報化推進、情報セキュリティ、協会のITインフラの調達・情報共有化等の事業運営のサポートを行います。

大田ものづくりプラットフォームデータベース構築事業	取引拡大
令和4年度予算額：16,701千円（補）16,701千円	
令和3年度決算額：19,406千円（補）19,406千円	

【事業概要】

区内中小企業の受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築するため、専門家を交えてシステムの検証を行っています。

② P i Oフロント（電話番号：03-3733-6144）

大田区産業プラザ1階入口の経営相談窓口「P i Oフロント」で創業や経営に必要な情報の提供、専門的な助言を行います。

中小企業情報化支援	創業・相談事業・コンサルティング
令和4年度予算額：5,154千円（補）2,844千円	
令和3年度決算額：4,151千円（補）2,357千円	

【事業概要】

区内中小企業のWebサイトをはじめとした各種PRツールの作成を支援し、自社製品やサービスのPRを促進します。

【対象者】

区内中小企業

【令和3年度実績】

ホームページ・PRツール作成支援サービス「PiOデザイン工房」
 利用回数 延べ235回 新規利用者数23社

ビジネスサポートサービス	人材育成・確保
令和4年度予算額：13,739千円（補）13,739千円	
令和3年度決算額：16,739千円（補）9,759千円	

【事業概要】

経営状況の段階に応じて情報提供や相談、助成を行います。

ア ビジネスサポート相談

経営改善、販路開拓、技術・生産性の向上、知財の活用、事業承継などに取組む区内中小企業等に対し、各分野の専門家を派遣します。

イ 各種許認可等取得支援助成金

環境配慮型経営や国際競争力向上、新分野進出に必要な許認可取得を支援するための経費の一部助成を行います。

ウ 経営相談窓口「PiO フロント」

大田区産業プラザの来館者の相談に対しワンストップで、必要な情報の提供、専門的な助言を行います。さらに、国や都等の支援機関窓口への橋渡しを行うことで、区内中小企業の経営基盤の強化につなげるとともに、産業プラザ全体の窓口機能を併せもつことで利便性を向上させます。

エ 大田区デジタルプラットフォーム

区内中小企業がデジタル化に必要な「人材」、「知見」などを補うためのデジタル支援プラットフォーム「OTA デジタル×Pi0」を運営し、利用者間の交流支援や、個別ニーズへのきめ細かなサポートを行い、企業経営の高度化及び取引拡大につなげます。

【対象者】

区内中小企業

【令和3年度実績】

ア ビジネスサポート相談： 支援協力者登録数107人、専門家派遣回数625回

知的財産相談：対応専門家4人、特許相談30回

大田の工匠派遣：派遣回数 2回

イ ビジネスサポートセミナーの実施

・商業系事業者向け補助金活用セミナー（オンライン）

「補助金・助成金の紹介、書き方について」

令和3年9月9日実施、参加者：当日視聴25社 後日配信12社

・経営サポートセミナー

「専門家が教えます！事業計画の描き方」令和3年11月25日実施、参加者：15名

- ウ 各種許認可等取得支援助成金の交付
助成金交付企業数 5 社（6 件）
医療機器製造業及び医療機器製造販売業（1 件）、指定管理医療機器製造販売認証（1 件）
プライバシーマーク（1 件）、ISO13485（1 件）、ISO9001（1 件）、JISQ9001（1 件）
- エ 大田区デジタルプラットフォーム
 - ・登録者 572 人
 - ・「OTA デジタル×Pi0」関連イベント合計 10 件
（セミナー 4 件、関連イベントアーカイブ 6 件）
 - ・「OTA デジタル×Pi0」内での勉強会（大田区企業×医療・ヘルスケア産業）1 件

3 地域産業活性化デパートメント

(1) 地域人財セクション

① 勤労者支援（電話番号：03-3733-6107）

大田区勤労者共済は、相互扶助の精神により、会員・大田区・共済会の三位一体で、中小企業の勤労者福祉サービスを提供する仕組みです。慶弔見舞金の給付や各種福利厚生サービスなど、会員の皆様が安心して働けるための事業と会員のご家族も心豊かに生活を送れる事業を行っています。

【勤労者共済について】

- 加入対象：区内中小企業の事業主と従業員、区内に居住し、区外の中小企業で働く従業員
- 会費等：入会金 200 円 月会費 500 円
- 給付事業：出生・結婚・銀婚・金婚・入学・見舞金・弔慰金等
- 福利厚生事業：宿泊補助、レジャー施設利用補助、各種チケット割引、健康維持増進事業

加入促進事業（運営費）	勤労者福祉
令和 4 年度予算額：12,737 千円（補）4,992 千円	
令和 3 年度決算額：11,005 千円（補）4,342 千円	

【事業概要】

会員募集パンフレット類の配布や加入促進員及び職員の訪問勧奨により会員数の増加を図ります。

- 勤労者共済事業の周知活動
 - ・事業紹介に関するパンフレットの配布
 - ・あき now・テクノプラザ・各団体会報誌への掲載、会報誌の発行
- 会費管理
 - ・給付状況把握及び加入促進
 - ・会員の事業利用状況の把握・給付申請の通知

【令和 3 年度実績】

会員事業所数 1,380 事業所、会員数 4,055 人
大田区勤労者共済会報誌「ふれあい」発行（年 10 回）

福利厚生事業	勤労者福祉
令和4年度予算額：30,660千円	
令和3年度決算額：30,345千円	

【事業概要】

- 健康維持増進に関する事業（人間ドック、インフルエンザ予防接種受診補助、公衆浴場、スポーツセンター・区営プール利用補助）
- 宿泊施設の利用（ライフサポート倶楽部宿泊補助）
- 契約施設等の利用（レジャー施設利用補助、区内指定店、デパート割引）
- 各種チケットの割引（映画・スポーツ観戦・観劇チケット・食事券等の割引）

【令和3年度実績】

各事業において発券・補助・割引斡旋した件数 13,701 件

給付事業	勤労者福祉
令和4年度予算額：7,625千円	
令和3年度決算額：6,469千円	

【事業概要】

- 共済会員に対しての「祝金（結婚・銀婚・金婚、入学、成人、出生等）」、「見舞金（入院、障害、住宅火災等）」「弔慰金（会員・家族死亡等）」の給付
- 継続会員記念品（5年継続、10年毎継続）の贈呈

【令和3年度実績】

祝金・継続祝品・見舞金・弔慰金 給付合計件数 880 件

② 人財育成・確保（電話番号：03-3733-6107）

区内中小企業の人材確保のため、求人ウェブサイトの運営や内職相談窓口を設置し、あっせん及び相談を行っています。また、区内中小企業の技術力の高度化を図るため、都立産業技術高等専門学校と連携し人材育成を行っています。

おしごとナビ大田区	人材育成・確保
令和4年度予算額：1,890千円（補） 49千円	
令和3年度決算額：1,211千円（補） △563千円	

【事業概要】

インターネット上で、区内中小企業の求人情報と企業PRを行う場を提供し、掲載企業の求人活動を支援します。

【対象者】

区内中小企業・関東圏の大学・短大・専門学校・城南地域の高校・一般求職者

【令和3年度実績】

求人広告掲載企業：123 社

新規登録企業件数：27 件

中小企業次世代ものづくり人材の育成事業	人材育成・確保
令和4年度予算額： 999 千円 (補) 889 千円	
令和3年度決算額： 779 千円 (補) 759 千円	

【事業概要】

ア 都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校の教員と連携し、学校施設を活用して、区内中小企業の新人向け基礎講座を実施し、人材育成を行います。(品川区との連携事業) 学校施設を活用した講座の他に、教員が企業へ出張する出前講座を実施します。

イ おおた少年少女発明クラブの支援

小学生のものづくりへの関心を高めるため、ものづくり教室の開催・運営を助成します。

【対象者】

ア 区内中小企業

イ 区内在住小学4～6年生

【令和3年度実績】

ア 都立産業技術高等専門学校との連携

受講者数：41人(基礎講座：36人、出前講座：5人)

イ クラブ参加人数：24人、活動期間：令和3年4月～令和4年3月まで

定期活動：13回 臨時活動：4回

若者と中小企業とのマッチング事業	人材育成・確保
令和4年度予算額：1,963 千円 (補) 1,963 千円	
令和3年度決算額：1,785 千円 (補) 1,785 千円	

【事業概要】

大学等の教育機関と連携し、オンライン上または対面による合同企業説明会を開催し、若手求職者の就職活動の支援及び区内中小企業の人材確保の支援を行います。

【対象者】

区内中小企業及び就職活動中の大学生

【令和3年度実績】

ア オンライン合同企業説明会

	参加企業数	参加大学	参加者	※選考	成果
第1回	9社	5大学	25人	9人	0人
第2回	8社	9大学	36人	8人	3人(内定)

※選考は、本合同企業説明会後に、個別に企業で実施。

内職あっせん・相談事業	その他の業種
令和4年度予算額：3,331 千円 (補) 3,331 千円	
令和3年度決算額：3,270 千円 (補) 3,270 千円	

【事業概要】

区内の内職希望者及び内職委託者を対象として、内職のあっせん・相談を行います。

ア あっせん相談

- ① 常設窓口（大田区産業プラザ3階）
毎週月～金曜日実施、9:00～12:00（登録 9:00～11:30）
13:00～17:00（登録 13:00～16:30）
- ② 出張相談（ハローワーク大森1階 マザーズコーナー）
年6回（偶数月に実施、9:30～11:30）

イ 求人企業開拓 普及・啓発用印刷物（求人募集パンフレット）の作成・配布
産業情報誌に業務記事掲載、企業訪問（新規登録及び追跡調査）

【対象者】

求職者：大田区在住者 求人企業：大田区または近隣地域の企業

【令和3年度実績】

ア あっせん・相談

求職状況	求人状況		あっせん状況		採用状況	問合せ状況 (求職相談)
登録人数	事業所数	人数	事業所数	人数	人数	件数
425	168	264	265	308	219	1,554

・出張相談 2回開催

イ 求人企業開拓

- ・新規求人企業獲得数 13件、企業訪問 25社
- ・蒲田・大森・雪谷法人会会報誌にチラシ封入 6,000枚
- ・大森青色申告会会報封入 2,500枚
- ・区内製造業 558社投函 1回
- ・産業情報誌「テクノプラザ」に記事掲載（年4回）

ウ 求職者向け周知活動

- ・大田区報に記事掲載（年5回）
- ・印刷物設置約 6,600部（区役所、区内図書館、特別出張所、地域庁舎及び子育て支援施設、ハローワーク大森マザーズコーナー、大田文化の森など）

(2) MICE 推進セクション

① コワーキング（電話番号：03-3733-6401）

令和4年度から産業プラザ2階のコワーキングスペースを運営し、新しい働き方や創業など多様な目的で利用いただける有益な場を提供しています。

② MICE 推進（電話番号：03-3733-6477）

大田区の産業振興の拠点である産業プラザにおける、貸館の管理代行及び産業プラザ・東京都城南地域中小企業振興センターの施設維持に関する管理と産業プラザにおける MICE を推進し、ビジネス・イノベーションの機会の創出、地域への経済効果、区のプレゼンス向上に寄与していきます。

産業プラザ施設維持の管理運営	産業プラザの管理運営
令和4年度予算額：(委) 61,979千円	
令和3年度決算額：(委) 53,833千円	

【事業概要】

大田区と東京都で共同所有する大田区産業プラザ及び東京都城南地域中小企業振興センターの施設維持に関する業務を区から受託することにより、貸館部分の管理代行と併せて一層効率的な業務運営を行います。

施設の維持管理業務（設備管理、警備及び清掃等）は区が発注し、(公財)大田区産業振興協会がこれらの業務の管理監督を行っています。

【令和3年度実績】

維持補修工事 24,125,486円(71件)等

産業プラザ展示ホール等の管理運営事業	産業プラザの管理運営
令和4年度予算額：(利) 236,481千円	
令和3年度決算額：(利) 102,965千円	

【事業概要】

令和4年度から令和8年度までの5年間、大田区産業プラザの貸館部分の管理運営を区の指定管理者として受託しました。①HANEDA×Pi0 と一体的に管理運営することで、区内産業の拠点としての価値を高めること、②利便性向上により顧客満足度を高め、地域に安全・安心を提供する施設を目指すこと、③MICE活動を推進し区内産業活性化の一大拠点となる施設を目指すことを基本方針とし、利用料金制度の利点を活かして、利用者サービスの質と集客力を高め管理代行を行います。また、産業プラザ2階のコワーキングスペース「biz BEACH CoWorking」の管理運営も令和4年4月から行っています。

※MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客・交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

【対象者】

区内中小企業、区民その他一般

【令和3年度実績】

《利用率》ホール系：56.5%、会議室系：54.8%（年間平均）※コンベンションホールは工事中のため除外

《利用者数》 584,124人

《利用料金収入》 84,654,766円（うち、駐車場利用料：4,944,200円）

《利用料金支出》 102,965,293円

《区からの補填》 98,449,361円（納付免除80,138,834円を含む）

※①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年4月1日から10月24日までの間、施設の一部または全部の利用貸出を停止しました。

②令和3年8月2日から11月30日まで大展示ホールは、新型コロナウイルスワクチン接種会場となりました。

③令和3年4月1日から令和4年3月31日までコンベンションホールは、区による特定天井改修工事のため利用停止しました。

施設貸与に伴う付加サービス事業	産業プラザの管理運営
令和4年度予算額：4,556千円	
令和3年度決算額：2,299千円	

【事業概要】

条例で定められた管理代行業務のほか、自主事業として産業プラザ貸館利用者に対してより付加価値の高いサービスを提供し、利用満足度向上とともに利用促進を図ります。

【対象者】

産業プラザ貸館利用者

【令和3年度実績】

- ・看板作成料収入：387,420円
- ・PiO倶楽部掲載料収入：480,700円（51社掲載）
- ・周辺マップ掲載料収入：176,000円（32店舗掲載）等

4 経営支援デパートメント

(1) 経営支援セクション

① プロモーション（電話番号：03-3733-6476）

区内中小企業の強みやその最新の取組を、国内・海外へ向けて情報発信し、受注拡大や観光客誘致を図り、産業振興につなげます。また、区及び協会の各種事業を紹介することで、区内中小企業が様々なサービスが受けられるよう利用促進を図ります。

大田区産業振興普及事業	情報提供・ネットワーク
令和4年度予算額：424千円（補）424千円	
令和3年度決算額：396千円（補）396千円	

【事業概要】

協会ホームページ、総合事業案内及び大田区工業ガイド等を活用し、広く大田区の産業をプロモーションするとともに、協会事業の周知を図ります。また、国内・外からの視察対応を通じて区内産業の魅力や強みを直接訴えることで、ビジネスチャンスの拡大を図ります。

【対象者】

区内中小企業、区民、来館者、国内外の視察・見学者

【令和3年度実績】

- 総合事業案内のリニューアル
- 大田区工業ガイドのWeb版での紹介
(Webページの多言語対応<日本語版・英語版>)

産業情報誌の発行	情報提供・ネットワーク
令和4年度予算額：4,701千円（補）4,701千円	
令和3年度決算額：3,864千円（補）3,864千円	

【事業概要】

区内ものづくり中小企業へ産業や行政施策の情報を発信し、自社の事業展開等に有効活用してもらうことを目的に、産業情報誌「テクノプラザ」を発行。（年6回）

【対象者】

区内ものづくり中小企業

【令和3年度実績】

「テクノプラザ」 奇数月15日・4,400部発行し、事業者配布

産業情報受発信事業	情報提供・ネットワーク
令和4年度予算額：4,556千円（補）4,256千円	
令和3年度決算額：4,025千円（補）3,988千円	

【事業概要】

区内外の産業情報を広く収集するとともに、適切な媒体を用いてタイムリーに提供します。特に、協会ホームページでは、産業施策、協会、区等の施策の案内を中心に、企業成長や経営革新・勤労者に有用な最新の情報を切れ目なく発信します。

【対象者】

区内中小企業及び勤労者

【令和3年度実績】

協会ホームページ：年間アクセス件数 535,762 件
年間閲覧ページ数（ページビュー）1,336,168 件

工場表彰制度	表彰事業
令和4年度予算額：3,680千円（補）3,580千円	
令和3年度決算額：2,614千円（補）2,614千円	

【事業概要】

人に優しい(働きがいのある労働環境)、まちに優しい(周辺環境との調和)、経営や技術に優れた工場を「優工場」に認定(期間5年)するとともに、その中でも特に優秀な工場表彰することにより、大田区の工業に従事する人のやりがい、生きがいを引きだし、併せて区内中小企業の優秀性を内外にPRし、大田区工業の振興を図ります。

【対象者】

区内で操業中の工場（要工場認可）

【実績】

認定期間 5年

年度	認定工場数等
令和3年度	8工場（内、表彰 4工場）
令和2年度	5工場（内、表彰 3工場）
令和元年度	10工場（内、表彰 4工場）

平成 30 年度	9 工場 (内、表彰 3 工場)
平成 29 年度	8 工場 (内、表彰 5 工場)

大田区優秀技術者表彰事業「大田の工匠 技術・技能継承」	表彰事業
令和 4 年度予算額：2,294 千円 (補) 2,294 千円	
令和 3 年度決算額：2,725 千円 (補) 2,725 千円	

【事業概要】

技術・技能の継承を目的に実務指導者と若手技術者による、企業内または企業間で実施されている優れた取組を表彰します。併せてこの取組をPRすることにより、「技術・技能継承」と「若手人材の育成・確保」を促し、区内ものづくり産業の活性化を目的としています。

【対象者】

- ・実務指導者：所属企業において技術・技能の指導的地位にある方（年齢不問）
 - ・若手技術者：実務経験3年以上を有し、かつ40歳代までの方
- ※実務指導者・若手技術者とともに、大田区内の企業に所属すること。（それぞれの所属企業は異なる企業でも可。）

【令和3年度実績】

受賞企業 12社 (12組)

大田のお土産100選 表彰事業	表彰事業
令和 4 年度予算額： 240 千円 (補) 240 千円	
令和 3 年度決算額： 2,556 千円 (補) 2,556 千円	

【事業概要】

大田のお土産にふさわしい製品・商品の「大田のお土産100選」を観光情報コーナーや各種展示会等を通じて国内・外に広くPRすることで、地域経済の活性化と賑わいの創出につなげます。

【令和3年度実績】

- ① 常設販売 (25社製品・商品；羽田イノベーションシティ丸善雄松堂 Creadisce)
- ② 「大田のお土産100選フェア」出展販売 (17事業者；東急プラザ蒲田)
令和3年9月18日～20日
- ③ 勤労者共済コラボ企画 参加12事業者 会報「ふれあい」令和3年12月号に掲載
- ④ B.LEAGEアースフレンズ東京Z「おいでよ！カマタZ」納品販売5事業者 令和3年9月17日
- ⑤ B.LEAGEアースフレンズ東京Z「おいでよ！カマタZ」納品販売8事業者
令和3年12月11日～12日
- ⑥ TOKYO イイシナオンライン展示商談会 出展1事業者 令和4年1月17日～3月11日
- ⑦ 店頭掲示用の「大田のお土産100選」ロゴシールを作成、表彰事業者へ配布

商店（飲食店）表彰制度	表彰事業
令和4年度予算額：1,913千円（補）1,913千円	
令和3年度決算額：4,279千円（補）4,279千円	

【事業概要】

区内の特色ある優良な飲食店を「OTA!いちおしグルメ」として表彰して、店舗のモチベーションを高めるとともに、区内・外に区内店舗の魅力を幅広くウェブサイトなどでPRします。

【対象者】

区内の飲食店

【令和3年度実績】

- ① いちおし新メニューキャンペーン 参加19店舗 令和3年11月14日～12月12日
- ② うえるかむOTAウェブサイト開設
MICE情報発信WEBサイトとして「宿泊・グルメ・観光」の情報提供を行う(令和4年度より区観光課へ移管)
- ③ その他広報活動
はねびょん健康ポイント スタンプスポットとして登録(84店舗)

② 取引拡大（個店・サービス等）（電話番号：03-3733-6476）

区内商業・サービス業事業者（個店）の経営力・商品力を高め、魅力ある店舗づくりのお手伝いをするとともに取引・販売機会の場を設け、商業・サービス業の活性化を推進します。

おたかい・観光展	商店街・商い・サービス業
令和4年度予算額：9,113千円（補）8,013千円	
令和3年度決算額：8,999千円（補）8,262千円	

【事業概要】

大田区の商い及び観光の魅力をPRして地域産業の活性化を図るイベントを開催します。令和4年度は前年度に続き、「大田区の街全体」を一つの会場に見立てて、参加者に直接お店や観光地を訪れてもらう企画やオンラインを活用した企画を実施します。

【対象者】

出展者：区内の中小企業者及び個人事業者

【令和3年度実績】

- 会 期：令和3年11月14日～12月12日
- 参加事業者数：196事業者（140社・団体、観光施設56ヶ所）、公式HPアクセス数：38,932
- 関連セミナー：販売戦略策定セミナー 令和3年9月22日配信
※新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、オンデマンド方式で配信
- 連携イベント：・まちあるき企画（観光課・（一社）大田観光協会）
・田園調布エリアの回遊促進WEBコンテンツ（大田区商店街連合会）2本
・卸・製造業企業の商品展示及び販売（大田区観光情報センター）13社
・区内製麺所とのコラボラーメンの自販機設置（大田区観光情報センター・参加事業者）3社242食

商い・サービス産業取引相談	取引拡大
令和4年度予算額：9,257千円（補）7,742千円	
令和3年度決算額：8,735千円（補）7,906千円	

【事業概要】

区内商業・サービス業事業者の取引促進のため、専門相談員による事業者の訪問調査・相談を行うとともに、各種サポートや商談機会を提供します。

- ア 専門相談員（あきない活性化コーディネーター）による区内商業・サービス業事業者への訪問調査・相談
- イ 商業展示会の共同出展
区内商業事業者が、バイヤーへ自社商品を売り込む機会として共同出展を支援します。
- ウ フード展示商談会
主に区内食品事業者に対し、バイヤーへ自社商品を売り込む商談会を開催します。

【対象者】

区内商業・サービス業事業者

【令和3年度実績】

- ア 専門相談員による区内商い関連事業者への訪問件数 251件
- イ 商業展示会への共同出展
 - ・展示会名：東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2021
令和3年10月13日～15日、東京ビッグサイト
参加企業7社、商談件数249件、成約件数3件
 - ・展示会名：スーパーマーケット・トレードショー2022
令和4年2月16日～18日、幕張メッセ
参加企業4社、商談件数105件、成約件数9件
- ウ 商業者向けセミナー
テーマ「アフターコロナにおける経営のヒント」
令和4年3月4日～3月25日オンライン配信で実施、参加者28人

繁盛店創出事業	商店街・商い・サービス業
令和4年度予算額：18,456千円（補）18,456千円	
令和3年度決算額：32,377千円（補）32,377千円	

【事業概要】

- ア 繁盛店創出事業（個店診断・改善費用助成）
区内商業・サービス業店（個店）に、経営指導や店舗デザイン等の専門家を派遣し、店舗診断を行います。専門家の提案に基づいて店舗の内外装飾、宣伝広告等の改善実施をする場合は、その費用の一部を助成します。
- イ 商業版産業情報誌「あきnow」の発行
区内商業・サービス業事業者に向けて、商業版産業情報誌「あきnow」（年2回）を刊行することで協会事業の活用を促進します。

【対象者】

区内商業・サービス業事業者

【令和3年度実績】

ア 個店診断・改善費用助成

店舗診断件数：50件、店舗改善等費用助成件数：22件

新型コロナ感染防止対策特別助成

申込件数：211件、助成件数：204件

イ 商業版産業情報誌「あき now」の発行

発行回数：2回、発行部数：各8,000部

ウ 商い経営事例研究会

区内商業事業者の経営事例の紹介、令和3年3月4日～3月25日オンライン配信で実施、参加者28人

(2) 経営支援セクション

① 取引拡大（工業・運輸等）（電話番号：03-3733-6126）

区内中小企業の受注拡大、新市場開拓、ビジネスチャンス獲得に向け全力でサポートします。ものづくり産業をはじめ大田区の特徴・魅力を持つ区内中小企業に対して、受・発注相談や、おおた工業フェア等、協会の自主展示会、各種商談会を実施するほか、国内外の見本市への出展を支援します。これらの機会を通じて、区内中小企業の取引拡大を図るほか、大田区への創業者を誘致するため、専門家による相談やイベントを実施します。

創業者支援事業 (創業相談窓口の設置、創業体験ワークショップ、スタートアップ試作支援)	創業・相談事業・コンサルティング
令和4年度予算額：14,901千円（補）14,901千円	
令和3年度決算額：12,971千円（補）12,971千円	

【事業概要】

新規創業者の発掘・育成と、創業間もない方に対する創業期の負担軽減など、創業相談員が様々な課題の解決に向けて助言・指導します。また、ものづくり分野での創業を目指す方を対象とした創業体験ワークショップやスタートアップ試作支援を行い、区内への定着と事業の発展を支援します。

ア 創業相談窓口の設置

区内での創業を考えている方、及び創業間もない方に対して専門相談員による窓口相談を行い、創業時の様々な課題解決に向け対応します。

イ 創業体験ワークショップ

ものづくり分野で創業を目指す方を対象に、創業体験ができるワークショップ型のイベントを開催し、区内での創業機運を醸成します。

ウ スタートアップ試作支援（ベンチャーピッチ in 羽田）

創業アイデアを持つ人を対象に特定創業カリキュラムのセミナーを行います。また、試作品やアイデアのコーチング、ピッチイベントを行い、協業者とのマッチングを目指します。

【対象者】

区内で創業を検討される方及び創業間もない方

【令和3年度実績】

ア 創業相談窓口の設置 相談件数：延べ575回

イ 創業体験ワークショップ

1回目（チームづくり・アイデアピッチ）：令和3年9月11日 参加者数22人

2回目（オンラインコーチング）：令和3年9月13日～15日 参加者数22人

3回目（創業準備）：令和3年9月18日 参加者数19人

4回目（ピッチイベント）：令和3年9月25日 参加者数30人

ウ スタートアップ試作支援

○創業セミナー

1回目（経営計画）：令和3年10月6日 参加者数17人

2回目（財務）：令和3年10月14日 参加者数19人

3回目（人材育成）：令和3年10月20日 参加者数17人

4回目（販路開拓）：令和3年10月28日 参加者数18人

○ベンチャーピッチ in 羽田

申込件数：15社・団体

コーチング・ピッチ実施：8社・団体

全体コーチング：第1回 令和3年12月14日

第2回 令和3年12月23日

個別コーチング：令和3年12月～令和4年2月の3か月間、月2回を目安に実施

ピッチイベント：令和4年2月18日

※CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）などの投資企業に対してピッチを実施

受・発注相談	取引拡大
令和4年度予算額：29,685千円（補）29,255千円	
令和3年度決算額：26,234千円（補）25,892千円	

【事業概要】

区内中小企業の取引の機会を拡大するため、国内外からの受・発注あっせん相談に対応できる専門相談員（ものづくり連携コーディネーター）を配置し、適切な区内中小企業の紹介を行うとともに、幅広く商談機会を提供します。

ア 相談業務

専門相談員（ものづくり連携コーディネーター）による受注・発注のあっせん相談及び区内中小企業の操業状況や要望を把握・確認するための巡回訪問を行います。

イ 発注開拓

専門相談員（ものづくり連携コーディネーター）、職員が中堅・大手メーカーの開発部門等への営業訪問を行い発注案件の開拓を行います。

ウ 受・発注商談会

区内外のものづくり企業が一堂に会する商談、技術提携及び情報交換の場を設けます。

エ 発注企業ニーズ選定ミニ商談会

協会職員が発注企業のニーズを選定して小規模の商談会を実施します。

【対象者】

区内中小企業

【令和3年度実績】

ア 相談業務

成立件数 106 件、成立金額 96,222 千円、相談件数：受注 5 件・発注 723 件、
巡回件数 812 件（ものづくり連携コーディネーター533 件、外部委託 279 件）

イ 発注開拓

ものづくり連携コーディネーター及び職員による主に区外の中堅・大手企業への発注開拓
訪問先 77 件、成約案件 32 件、成約金額 23,735 千円

ウ 受・発注商談会（第 60 回ものづくり受発注商談会 in 大田）

令和3年 11 月 29 日、参加企業 135 社（発注 45 社、受注 90 社）、商談件数 334 件

エ スマイルカーブ商談会 令和4年 3 月 7 日～25 日、参加企業数 17 社、商談件数 10 件

※当商談会は、スマイル商談3ウィークとして1日限りの催事から3週間の期間を設定した個別マッチングとして実施(オンライン商談会含む)。

大田区加工技術展示商談会	取引拡大
令和4年度予算額：13,881 千円（補）12,825 千円	
令和3年度決算額：14,675 千円（補）12,915 千円	

【事業概要】

区内の製造業の8割を占める従業員10人以下の企業のうち、加工専門企業を対象として、各社の技術力を、全国の中堅・大手企業にPRし具体的な契約成立を図るため、展示商談会を開催します（年1回）。

【対象者】

区内中小企業

【令和3年度実績】

大田区加工技術展示商談会 2021 令和3年 7 月 3 日開催

参加 100 社、来場者 1,527 人、商談件数 1,175 件、取引成立金額 9,923 千円

国内見本市への出展支援	取引拡大
令和4年度予算額：23,055 千円（補）17,249 千円	
令和3年度決算額：18,033 千円（補）15,372 千円	

【事業概要】

区内中小企業が開発・生産した優秀な製品や技術のアピールと取引拡大を目的として、全国的な展示会に共同出展するための支援を行います。

ア ものづくり産業PR展示会への出展支援

イ 新製品・新技術コンクール受賞企業褒賞出展

【対象者】

区内中小企業

【令和3年度実績】

ア 国内見本市への出展、3展示会、成約件数 27 件

イ 新製品・新技術コンクール受賞企業褒賞出展企業 8 社、成約件数 3 件

海外取引相談事業	取引拡大
令和4年度予算額：17,318千円（補）17,258千円	
令和3年度決算額：16,884千円（補）16,726千円	

【事業概要】

区内企業の海外展開を促進するため、地域に密着したワンストップ窓口として企業の個別課題に海外取引の専門相談員（ものづくり連携コーディネーター）が対応します。

ア 海外取引相談

貿易実務や売買契約等、国際ビジネス全般に関する相談業務を行います。

イ 海外市場開拓

「ASEAN」（タイ・ベトナムなど）及び米国を中心に市場開拓を行います。また、世界各国の市場性や投資環境などの情報、海外の発注案件を区内中小企業に提供します。

ウ 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

区内中小企業のホームページ、海外取引に使用する企業カタログ、マニュアル、契約書等の書類の翻訳を支援し多言語化を図ります。また、区内中小企業が海外取引において必要となる取引相手先の信用調査を専門会社に委託し、調査レポートを提供することで海外取引の円滑化と拡大を支援します。

エ 広告媒体の利用

日本人向け海外ビジネスWebサイトに区内中小企業の広告を掲載します。

オ 英文企業ガイドWeb (Profiles of Companies in Ota City)

区内企業の製品・技術を海外市場に向けて発信するため、英文の企業ガイドを作成し、ホームページ上で展開します。

カ 国際ビジネス商談会

国内において区内企業と海外企業・機関との商談会を実施します。

【対象者】

区内中小企業

【令和3年度実績】

ア 海外取引相談

786件（中国・台湾 134件、ASEAN 118件、欧州 208件、北米 87件、その他 239件）

海外取引セミナー及び海外市場勉強会：

セミナー：全5回開催 参加人数 延べ197人、欧州市場勉強会：全2回開催 延べ23人

イ 海外市場開拓：

国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数

200件（中国・台湾 64件、ASEAN 32件、欧州 64件、北米 28件、その他 12件）

・区内企業への海外機関・企業からの発注案件紹介件数：55件

・国際取引あっせん件数：期内成約案件5件 取引成約金額 5,435千円

ウ 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

文書翻訳サービス：23件、海外企業信用調査：10件

エ 広告媒体の利用

海外駐在員や国際部門の担当者を主要な購読者に持つ海外ビジネス情報専門webサイト

「NNA ASIA」に、協会事業の紹介と区内中小企業2社の海外進出事例を紹介しました。

オ 英文企業ガイドの活用

従来の冊子からウェブ版として英文企業ガイドWeb (PROFILES OF COMPANIES in Ota City) を新たに作成しました (72 社申込)。また、オンライン見本市へ出展時に本ウェブをアピールしました。

海外見本市への出展支援	取引拡大
令和4年度予算額： 9,851 千円 (補) 9,851 千円	
令和3年度決算額： 931 千円 (補) 931 千円	

【事業概要】

大田区の優れた製品・技術やサービスを国際的にPRし、市場開拓につなげるため、区内中小企業との共同出展を行います。

【対象者】

区内中小企業

【令和3年度実績】

共同出展 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出展形態を変更)

・MD&M West+ (米国・アナハイム)

令和3年9月13日～10月13日 (オンライン出展)

協会単独出展、商談件数2件、継続案件0件、成約件数0件

・香港エレクトロニクスフェア(香港)

令和3年9月15日～19日 (オンライン出展)

協会単独出展、商談件数16件、継続案件0件、成約件数0件

・FBC アセアンものづくり商談会 (タイ・ベトナム)

令和3年11月11日～12日 (オンライン出展)

協会単独出展、商談件数20件、継続案件1件、成約件数1件

おおた工業フェア	取引拡大
令和3年度予算額： 19,139 千円 (補) 15,919 千円	
令和2年度決算額： 17,285 千円 (補) 17,085 千円	

【事業概要】

展示会及び併催イベントを通じ、区内産業の高い技術力・技能を広くアピールし、取引拡大に繋がります。

【出展対象者】

区内中小企業

【令和3年度実績】

第26回おおた工業フェア ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインのみの実施

令和3年12月15日～令和4年2月4日

(オンライン上で併催企画展「第1回OTAテック・トレードショー」を実施)

参加事業者数：93社 オンライン登録者数：1,168人

② イノベーション (電話番号：03-3733-6294)

区内企業の製品・技術のイノベーションを促すため、産学連携や企業マッチング等の機会を提供するほか、次世代産業創造事業・産業クラスター形成事業及び新製品・新技術開発支援事

業を実施します。また、イノベーション創出に資する情報提供として各種セミナーの開催に加え、新分野・新産業を見据えた展示会への出展等を行います。

創業者支援事業 (ユナイト助成)	創業・相談事業・コンサルティング
令和4年度予算額：5,000千円 (補) 5,000千円	
令和3年度決算額：660千円 (補) 660千円	

【事業概要】

スタートアップ企業の試作・開発に対して、区内企業への依頼・発注を条件に助成金を交付することで受注増加・販路の拡大及び技術力の向上を図るとともに、区内への立地を後押しします。

【対象者】

登記から6か月以上5年以内の企業

【令和3年度実績】

助成件数 2社 申込件数 2社

新製品・新技術開発支援事業	技術・研究開発
令和4年度予算額：76,546千円 (補) 76,546千円	
令和3年度決算額：62,245千円 (補) 62,245千円	

【事業概要】

ア トライアル助成、開発ステップアップ助成、実用化製品化助成

区内中小企業の技術力、製品開発力の向上を図り、付加価値を生み出すものづくり産業の活性化を図るため、試作開発に要する経費の一部を助成します。

○トライアル助成

助成限度額：100万円、助成率：助成対象経費の2分の1

○開発ステップアップ助成

助成限度額：500万円、助成率：助成対象経費の3分の2

○実用化製品化助成

助成限度額：500万円、助成率：助成対象経費の3分の2

イ 新製品・新技術コンクール

区内中小企業が開発した優秀な新製品・新技術を表彰します。また、受賞製品や技術について販路拡大支援等を行います。

【対象者】

ア 区内で本社または事業所を一年以上操業している中小企業（個人事業者を含む）

イ 区内で本社または事業所を一年以上操業している中小企業及び企業グループ

【令和3年度実績】

ア トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成：助成件数16社

○トライアル助成：申込件数2社、助成件数1社

○開発ステップアップ助成：申込件数17社、助成件数7社

○実用化製品化助成：申込件数20社、助成件数8社

イ 新製品・新技術コンクール

申込件数 17 件、表彰件数 9 件（最優秀賞：1 件、優秀賞：2 件、奨励賞等：6 件）

次世代産業創造・産業クラスター形成事業	技術・研究開発
令和 4 年度予算額：61,085 千円（補）56,861 千円	
令和 3 年度決算額：51,011 千円（補）48,951 千円	

【事業概要】

大学・公的研究機関・医療機関等との連携により、多様化・先進化する開発ニーズを捉え、区内中小企業のライフサイエンス・ヘルスケア（医療、福祉・介護、健康等）、ロボティクス、次世代モビリティ、農工連携、テロ対策・防衛、航空・宇宙、I o T、A I、環境・資源・新エネルギー分野等の次世代の産業分野への参入を支援します。また、大田区を拠点とした新しい産業クラスターを創出するため、ニーズの掘り起こしやマッチングを通じて区内中小企業の共同研究・部材供給・新製品開発の取組を支援し、新たな市場開拓先として次世代の産業分野に対応します。

併せて、産業クラスター形成に向け、羽田空港跡地成長戦略拠点の事業展開に沿う大田区企業の産業クラスター形成を図り、地域産業の対応力の向上と受注の獲得に努めます。

ア 区内の研究開発型企業に関する情報の発信

大学等研究機関の開発ニーズと区内の研究開発型企業の技術とのマッチング促進のため、研究開発型企業を紹介する web サイト「mirai」の運営、大田区研究開発型企業ガイド（冊子）の発行、展示会への出展、研究開発型企業向けのメルマガ配信及び大学・研究機関に対する協会事業等の情報発信を実施します。

イ 産学公相談

区内中小企業に対し、産学連携相談や大学・研究機関等とのマッチングを行い、新製品・新技術の事業化を伴走支援します。

ウ オープンイノベーションマッチング

大学等研究開発機関や大手企業の開発ニーズを捉え、区内中小企業とのマッチングを推進することにより、区内中小企業の新産業、次世代産業への参入の機会提供を行います。

エ 各種ワークショップの開催

ライフサイエンス・ヘルスケア、ロボティクス、次世代モビリティ、資源・レアアース^{でい}泥開発、環境・海洋プラスチックごみ、農工連携、危機管理、意匠デザイン等、新技術や新分野をテーマにしたセミナーやワークショップを開催します。

オ おおた研究・開発フェア

区内中小企業と全国の大学及び区内外の研究開発型企業との出会いの場を提供し、産学・産産連携の促進や取引拡大を目指します。

カ 新産業分野の展示会への出展

次世代産業分野を中心に出席し、区内中小企業の技術力を P R するとともに、研究開発型案件を獲得します。

キ 知財マッチングの実施

大手企業や大学などが保有する特許などの知的財産と区内中小企業のニーズを結び付け、区内企業の製品開発や工程改善などを後押しします。

【対象者】

区内中小企業

【令和3年度実績】

- ア 研究開発マッチングシステム（登録企業 156 社、メルマガ発信 26 回）、産学メルマガ配信 26 回、大田区研究開発型企業ガイド発行 2,500 部、大学や企業研究機関からの mirai を通じた技術相談 71 件（協会宛 26 件、企業宛 45 件）
- イ 産学交流相談 722 件（内、医工連携相談 51 件）
- ウ 大田区産業振興協会出張展示会 「アルフレッサ株式会社～触ろう会～」(参加者数 10 人)
つくば×大田区 医療・ヘルスケア機器～ベンチャー企業とものづくり企業の挑戦～ Meetup (参加者数 141 人)
- エ 東工大セミナー（2回、延べ 38 人参加）、次世代産業創造・産業クラスター形成セミナー（2回、延べ 64 人参加）、医工連携セミナー/イベント（1回、7社参加）、レアアース泥開発推進勉強会（1回、24人参加）、意匠デザイン・ワークショップ（2回、延べ 36 人参加者）
- オ おおた研究・開発フェア ONLINE（令和3年10月7日、8日開催）
出展者数 76 団体、登録者数 1,419 人、商談件数 198 件、特別講演 2 回、再生回数合計 995 回
- カ 新産業分野の展示会への出展（4 展示会、相談件数 132 件）
- キ 知財マッチング 区内大手企業とのマッチング会の実施(継続中)

産学連携研究開発支援事業	技術・研究開発
令和4年度予算額：2,764 千円	
令和3年度決算額：3,239 千円	

【事業概要】

産学連携研究開発支援施設（オオタイノベーションラボ）を研究開発に取り組む企業に貸与し、区内での産学連携による製品開発等を支援します。（令和4年4月で終了）

【対象者】

学術機関等と連携して活動を行っている中小企業者

【令和3年度実績】

入居企業 1 社

5 ハネダピオデパートメント

(1) ハネダピオセクション（電話番号：03-5579-7971）

Pi0 PARK（ピオパーク）の利用者に対する産業支援として、創業・経営相談や区内企業とのビジネスマッチング等を行い、利用者と区内中小企業とのハブ機能を担います。その実現に向けて、イベントの主催・招聘、コワーキング及びショーケース用スペースの提供など、Pi0 PARK の利用促進に向けたサービス、周知活動を行います。

羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業	取引拡大
令和4年度予算額：30,360 千円	(補) 26,464 千円
令和3年度決算額：18,257 千円	(補) 17,327 千円

【事業概要】

海外主要都市と各国内空港の結節点である羽田空港の地の利を生かし、「Pi0 PARK」を活性化させ

ることで、国内外の様々な産業分野のトップランナーやスタートアップと区内企業との交流をサポートします。このことにより、新たなサプライチェーンや高度技術連携を構築し、イノベーションの創出と区内産業の更なる国際化を目指します。また、PiO PARK 発の情報や製品・サービスについて、OTA デジタル×PiO 等で発信することで、新たな利用促進への好循環につなげます。

【対象者】

区内外の事業者、個人

【令和3年度実績】

イベント

- ・イベント件数： 66 件
- ・来場者総数： 2,293 人

コワーキング

- ・月額プラン契約件数／利用人数： 4 件/18 人
- ・ドロップイン利用： 30 人
- ・無料体験者数： 76 人
- ・ゲスト来訪者数： 1,971 人
- ・視察者数： 282 人（海外関係機関視察者 22 名/10 件含む）
- ・総来訪者数： 4,670 人（イベント来訪者数含む）

ショーケーシング（企画展抜粋）

- ・「パラスポーツを支えた大田区の技」（令和3年10月1日～令和4年1月中旬）
- ・「Tokyo 技能五輪・アビリンピック 2021 ギャラリー」（令和4年1月中旬～1月末）
- ・「OTA! FOUNDERS' PRODUCTS ～区内創業者による製品展示～」（令和4年2月1日～3月末）

第7 一般社団法人大田観光協会の事務事業

- ※ 記載している事業は「主な事業」です。
- ※ 社会経済情勢の変化などを受けて、変更になる場合があります。
- ※ 記載の予算・決算額を積算しても端数処理等により、実際の事業予算・決算額と一致しない場合があります。
- ※ 各事業枠内の予算・決算額のうち、(補)は区補助金を充当した額を示しています。また、(委)は区が委託した事業で区委託料により実施した事業。

おおた商い・観光展	
令和4年度予算額	: 600千円 (補) 600千円
令和3年度決算額	: 691千円 (補) 691千円

【事業概要】

- ・大田区の観光まちづくりのプラットフォームの醸成に向けて、交通事業者、ガイド団体、まちづくり団体、商店街、浴場組合、会員などを巻き込んだ形でのイベントを開催し、観光まちづくりの担い手、協力者、理解者の増加を図るとともに、産業活性化の一助とします。
- ・大田区の地域の魅力を紹介し、各地に誘客するきっかけをつくり、消費行動を促します。
- ・大田区ビギナーに向けたイベントを開催し、気軽に参加するきっかけづくりを行います。

【対象者】

区内外一般

【令和3年度実績】

- 実施内容：大森～羽田エリア間でのスタンプラリー
- ・行政、NPO、商店街、交通事業者、企業等、多様な団体との協働：協力団体14団体
- ・コロナ感染予防のための3密回避としてスタンプ設置個所を拡充：スタンプ設置9か所
- ・該当エリアを観光で盛り上げる人流の創出：応募者580人

大田の魅力PR事業	
令和4年度予算額	: 670千円 (補) 670千円
令和3年度決算額	: 187千円 (補) 187千円

【事業概要】

- ・地域の見どころを区民や観光客等のニーズに合わせてPRし、街中の賑わい創出、産業の活性化を図ります。
- ・区内外問わず大田区を訪れるきっかけとなる話題を提供し、大田区ファンを増やします。

【対象者】

区内外一般

【令和3年度実績】

- コロナ感染予防のため参加人数を絞り込みながら付加価値をつけたまち歩きガイドツアーを実施
- ・理学療法士による歩き方講座付きの「桜で元気！健康さんぽ」開催：参加人数10人
- ・当日限定お買い物クーポン付きの「桜の名所・洗足池 のんびりさんぽ」開催：参加人数5人

- 「みんなでつくるおおたの桜フォトギャラリー」を実施
 - ・大田観光協会 HP で募集&作品公開：写真応募総数 82 人、作品数 170 点
- 「おおたの桜を楽しもう 2022」特別展示を実施（会場：グランデュオ蒲田 3 階東西連絡通路）

水辺の賑わい事業

令和 4 年度予算額：1,450 千円（補）1,450 千円
 令和 3 年度決算額：1,201 千円（補）1,201 千円

【事業概要】

大田区特有の地域資源である水辺（臨海部・多摩川）を観光資源として活かし、カヌー事業や他団体との連携事業を通じ、区内外に魅力を PR する他、来訪（体験）機会を提供すること、地域の活性化、区の認知度向上と、水辺に親しむ体験機会の充実を図ります。

【対象者】

区内外一般

【令和 3 年度実績】

- 実施内容：カヌー&SUP 体験
 - ・実施月：10 月、11 月
 - ・実施回数：計 50 回（内、10 月：16 回、11 月：30 回、中止 4 回）
 - ・参加人数：計 179 人（シーカヤックスクール 31 人、シーカヤックツーリング 24 人、親子カヌー教室 76 人、SUP 体験 48 人）

くりらぼ多摩川運営事業

令和 4 年度予算額：2,826 千円（補）2,826 千円
 令和 3 年度決算額：2,659 千円（補）2,659 千円

【事業概要】

魅力ある「モノづくりのまちづくり」を推進する発信・交流拠点として、公・民・学が共同してモノづくり体験イベントや地域イベント出展を行い、モノづくりに興味を持つきっかけ作りと産業人材育成につなげます。

【対象者】

区内外一般

【令和 3 年度実績】

- オープンデイ：91 日間、利用者数 1,915 人
- 作品展示・販売：11 回
- 町工BAR：実施回数 4 回、参加人数：計 69 人
- SCRAP #自由研究：参加人数：152 人、協力企業：約 30 社
- 小学校授業協力：小池小学校、出雲小学校

おおたオープンファクトリー

令和 4 年度予算額：3,550 千円（補）3,550 千円
 令和 3 年度決算額：2,730 千円（補）2,730 千円

【事業概要】

大田区が誇る地域資源であるモノづくりをテーマに、一般の方が工場を訪れ職人と直接話したり、モノづくり体験企画などを実施することにより、地域のモノづくりマインドの醸成や、区内外の来訪者誘致および大田区のモノづくりの魅力を広く発信し、次世代の産業人材育成にもつなげます。また令和4年度においては、より広く大田区全域での工場見学会を実施するとともに、Web 活用も強化し、幅広い層への産業観光PRに努めます。

【対象者】

区内製造業、区内外一般

【令和3年度実績】

- ツアー：7種15回、参加人数104人、参加工場30社
(11月26日、27日、12月22日、1月8日、11日実施)
- 特設Webサイト公開：ユーザー数3,915、PV数23,609(集計期間11月1日から12月14日)
 - ・イベント情報紹介
 - ・オンライン「おうちでオープンファクトリー」(町工場の技術動画公開他)
- ガイド養成講座：全4回、参加人数17人

観光まちづくり事業
令和4年度予算額：585千円(補)585千円
令和3年度決算額：486千円(補)486千円

【事業概要】

- ・区内でイベントを実施する際、企画サポートや写真撮影、記事作成などを行うボランティアを支援します。
- ・観光まちづくりに関するイベントを地域の人たちと連携して行い、郷土愛の醸成や地域活性化、産業振興につなげていきます。
- ・地域や他団体との連携により、「観光」×他分野との展開を図ることで、新たなニーズの掘り起こしを図ります。

【対象者】

区内外一般

【令和3年度実績】

- 地域団体からの相談、打合せ(大田・品川まちめぐりガイドの会。全6回)
- 令和4年3月下旬に開催した協会主催「桜ツアー」の中でガイド活動を他団体とも連携し再開

大田観光協会ホームページ管理運営
令和4年度予算額：12,915千円(補)12,915千円
令和3年度決算額：1,623千円(補)1,623千円

【事業概要】

ホームページを活用し、区の認知度向上や興味喚起及び来訪意欲の醸成を目的に地域の情報を発信することで、街中の賑わい創出・産業の活性化も図ります。また地域のブランディング、プロモーションにも注力し、区の魅力度向上に努めます。今年度は観光課運営サイトと観光協会HPを一本化し、両サイトより必要な情報を汲み上げた「統合サイト」を構築します。

【令和3年度実績】

○Web サイト：年間PV数 1,291,131

○Facebook：年間投稿数 195、年間リーチ数 16,156

観光パンフレット等の発行
令和4年度予算額：6,331千円（補）6,331千円
令和3年度決算額：2,540千円（補）2,540千円

【事業概要】

・大田区来訪者への大田区の観光情報の提供と、大田区在住者に対するシビック・プライドを醸成する発行物を作成し、効果的に配布します。

・テーマ別に深掘りした大田の特性を発信することで、様々な角度で大田の観光の魅力を伝えると共に、街へ来訪するきっかけをつくり、区内外からの誘客に繋げ、産業振興に資するものとしてします。また、観光課が制作していた「大田区観光ガイド」の移管を受け、協会ならではの視点や取材力を生かしたパンフレットを制作し、魅力発信の強化に努めます。

【対象者】

区内外一般

【令和3年度実績】

○「大田の観光」と「大田区さんぽ」を統合した「あそびつくせ！大田区」を新たに創刊

・創刊号：11月発行、エリアテーマ：久が原、発行部数：A4版12,500部・縮小版5,000部

・第2号：3月発行、エリアテーマ：島めぐり、発行部数：A4版10,000部・縮小版5,000部

○「おおたの桜を楽しもう2022」パンフレット：3月発行、発行部数：A2四折10,000部

○「大田区イラストマップ」の増刷：12月納品、発行部数：A4蛇腹折5,000部

○「大田区再発見マップ～田園調布～」：3月納品、発行部数：A4版5,000部

○「蒲田マップ」の増刷：3月納品、発行部数A3二折3,000部

○「池上マップ」の増刷：3月納品、発行部数A3二折3,000部

大田区産業プラザ 観光・産業情報コーナー運營業務
令和4年度予算額：3,663千円（委）3,663千円
令和3年度決算額：4,785千円（委）4,785千円

【事業概要】

・来訪者等へ適切な大田区の観光・産業情報の説明、案内を行います。

・来訪者の興味喚起を促すような書籍、パンフレット等の配架及び展示を設置します。

【対象者】

区内外一般

【令和3年度実績】

○年間訪問者数：3,926人

○年間電話件数：290件

品川区・大田区広域連携事業
令和4年度予算額：550千円（委）550千円
令和3年度決算額：550千円（委）550千円

【事業概要】

- ・品川区、大田区が共有する観光資源等を活用した地域PR事業を実施して、近隣諸都市から区への誘客、にぎわいの創出を図ります。

【対象者】

区内外一般

【令和3年度実績】

○実施内容：大田区長原・洗足池エリア～品川区旗の台・荏原町エリア間で合言葉を探しながら商店街を回遊。

- ・合言葉探しで商店街を回遊する仕掛けを盛り込み、協力店舗と観光スポットを紹介したマップを作成（両区各4,750部）。

- ・エリア：大田区 長原商店街、洗足池商店街
品川区 旗の台中央商店街等

- ・期間：11月1日～11月30日

- ・合言葉探し応募者：606名

第8 参考資料

令和4年度 大田区産業経済部予算

歳出

(単位：千円)

目 名	令和4年度当初	令和3年度当初	増△減
産業経済総務費 (時間外勤務手当のみ)	31,417	25,659	5,758
産業振興費	3,588,851	3,632,685	△ 43,834
産業施設費	1,560,777	1,944,736	△ 383,959
観光振興費 (※)	134,928	—	134,928
計	5,315,973	5,603,080	△ 287,107

※観光振興費は令和4年度から産業経済部に移管

歳入

(単位：千円)

款 項	令和4年度当初	令和3年度当初	増△減
使用料及び手数料 使用料	467,469	519,268	△ 51,799
国庫支出金 国庫補助金	22,406	44,121	△ 21,715
都支出金 都補助金	263,225	240,650	22,575
財産収入 財産運用収入	410,810	274,783	136,027
寄附金 寄附金	40	40	0
諸収入 特別区預金利子	2	1	1
受託事業収入	184,500	202,913	△ 18,413
雑入	122,279	150,540	△ 28,261
計	1,470,731	1,432,316	38,415

令和4年度 大田区産業経済部事業別予算

(単位：千円)

事業名	令和4年度当初	令和3年度当初	前年度比
【産業政策、商・工業情報産業】			
産業基礎調査	12,680	12,695	△ 15
ものづくり集積都市間連携事業	107	597	△ 490
計	12,787	13,292	△ 505
【商業振興】			
商店街装飾灯整備助成	39,233	38,644	589
商店街チャレンジ戦略支援事業	247,768	203,093	44,675
商店街振興組合等推進事業	4,125	4,125	0
商店街活性化推進事業	13,394	27,986	△ 14,592
商店街景観整備事業	0	596	△ 596
商店街コミュニティ活性化事業	0	210	△ 210
区内商店街連携強化推進事業	15,861	15,861	0
計	320,381	290,515	29,866
【工業振興】			
区内工場立地・操業環境整備助成事業	259,689	240,387	19,302
大田区産業PR事業	4,785	4,785	0
ものづくり人材育成事業	29,003	28,739	264
産業支援施設指定管理者管理代行	324,019	376,663	△ 52,644
産業支援施設その他の維持管理費	537,584	557,258	△ 19,674
計	1,155,080	1,207,832	△ 52,752
【創業支援・産業交流関係】			
創業支援事業	41,700	32,351	9,349
地域課題解決型ビジネス支援	2,660	2,660	0
羽田空港跡地における産業交流拠点の形成	442,618	523,235	△ 80,617
計	486,978	558,246	△ 71,268

(単位：千円)

事業名	令和4年度当初	令和3年度当初	前年度比
【各種産業共通】			
中小企業従業員永年勤続等感謝状贈呈	481	455	26
産業団体経営革新支援事業	3,495	6,135	△ 2,640
計	3,976	6,590	△ 2,614
【農業関係】			
野菜と花の品評会	887	836	51
区民農園	14,304	9,137	5,167
農漁業関連事業	466	229	237
計	15,657	10,202	5,455
【中小企業融資等】			
商工融資相談	22,920	22,329	591
中小企業融資	1,665,880	1,698,778	△ 32,898
計	1,688,800	1,721,107	△ 32,307
【公衆浴場関係】			
公衆浴場施設改善助成	44,080	44,380	△ 300
公衆浴場事業助成	25,935	26,660	△ 725
計	70,015	71,040	△ 1,025
【観光振興】			
来訪者受け入れ環境の整備 (※)	5,586	—	5,586
観光まちづくりの支援 (※)	51,275	—	51,275
おおたの観光魅力発信事業 (※)	16,444	—	16,444
観光情報センター等の運営 (※)	55,907	—	55,907
計	129,212	—	129,212

(単位：千円)

事業名	令和4年度当初	令和3年度当初	前年度比
【その他】			
(公財)大田区産業振興協会 運営費補助	300,153	294,487	5,666
(公財)大田区産業振興協会 事業費補助	377,881	376,982	899
産業プラザ維持管理費	699,174	1,010,815	△ 311,641
建築工事あっせん相談	646	646	0
産業振興課事務費	18,100	15,667	2,433
観光課事務費 (※)	5,716	—	5,716
職員人件費	31,417	25,659	5,758
計	1,433,087	1,724,256	△ 291,169
合 計	5,315,973	5,603,080	△ 287,107

※令和4年度から産業経済部に移管された事業

2 区からの委託事業等

(単位：千円)

	令和4年度	令和3年度	増△減
産業プラザ施設維持の管理運営	61,979	46,441	15,538

*「産業プラザ展示ホール等の管理運営」は利用料金制のため、区からの委託料はない

令和4年度 一般社団法人大田観光協会予算

1 区補助金分

(単位：千円)

	令和4年度	令和3年度	増△減
大田観光協会に対する補助金	51,275	41,248	10,027
事業費補助	28,927	19,250	9,677
おおた商い観光展	600	1,023	△ 423
(仮称) KAMATA Loves Cinema プロジェクト	0	1,000	△ 1,000
大田の魅力PR事業	670	356	314
水辺の賑わい事業	1,450	1,850	△ 400
くりらぼ多摩川運営事業	2,826	2,720	106
おおたオープンファクトリー	3,550	3,900	△ 350
観光まちづくり事業	585	1,145	△ 560
大田観光協会ホームページ管理運営	12,915	3,815	9,100
観光パンフレット等の発行	6,331	3,441	2,890
運営費補助	4,000	3,650	350
人件費補助	15,998	15,998	0
区職員事業者負担分	2,350	2,350	0

2 区からの委託事業等

(単位：千円)

	令和4年度	令和3年度	増△減
大田区産業プラザ 観光・産業情報コーナー運営業務	3,663	4,785	△ 1,122
品川区・大田区広域連携事業	550	550	0

事業開始年度一覧（産業振興課、公益財団法人大田区産業振興協会）

事業名	開始年度	備考
野菜と花の品評会	昭和23年	
農業振興連絡協議会関連事業(農業見学会)	昭和28年	
産業団体実地研修会助成	昭和33年	平成22年度から 工業系団体：「次世代ものづくり人材育成事業」に統合 商業系団体：「商店街活性化推進事業」に統合
産業情報誌「テクノプラザ」の発行	昭和38年	
中小企業融資あっせん制度(区補償付以外)	昭和44年	
中小企業融資あっせん制度(区補償付)	昭和46年	平成25年度終了
内職あっせん・相談事業	昭和46年	
受・発注相談	昭和47年	平成元年から情報交換会開始 平成8年度から産業情報サービス相談開始
工業・小売業景気動向調査	昭和47年	平成26年度から「産業基礎調査」に統合
中小企業勤労者生活資金融資あっせん制度	昭和49年	平成25年度終了
商工資料の作成	昭和50年	平成26年度から「産業基礎調査」に統合
中小企業従業員永年勤続等感謝状贈呈	昭和51年	
区民農園	昭和51年	
中小企業倒産防止共済掛金助成	昭和53年	平成29年6月終了
商店街振興組合等推進事業	昭和56年	平成29年度から組合青年部設立費補助及び組合青年部活動費補助を追加
商店街活性化推進事業	昭和59年	平成27年度から：事業構成及び事業内容を改定 平成29年度：大田区商店街PR動画コンテスト（平成29年度終了） 平成30年度：商店街エリアサポーター事業開始（平成30年度終了） 令和元年度：商店街・個店グループモデル事業開始（令和元年度終了） 令和2年度：商店街ステップアップ応援事業開始 令和3年度：商店街戦略的PR事業開始
公衆浴場施設改善助成	昭和59年	
建築工事あっせん相談事業	昭和59年	
大田区勤労者共済会報の発行等(運営費)	昭和60年	
福利厚生事業	昭和60年	
給付事業	昭和60年	
中小企業者に対する勤労者福祉事業	昭和60年	

事業名	開始年度	備考
商店街装飾灯整備助成(設置補助)	昭和60年	
公衆浴場事業助成	昭和63年	
新製品・新技術コンクール	平成元年	
国内見本市出展支援	平成元年	
商店街会館建設改築助成	平成2年	令和3年度から「商店街チャレンジ戦略支援事業」に統合
外国人技術研修受入団体助成	平成3年	令和3年度終了
海外取引相談(アジアネットワーク展開事業)	平成4年	平成19年度からアジアネットワーク展開事業を開始
商店街装飾灯整備助成(維持管理費補助)	平成5年	
農業振興連絡協議会関連事業(農業振興連絡協議会)	平成5年	
海外見本市出展支援	平成6年	
下丸子テンポラリー工場	平成6年 開設	
工場表彰制度(優工場)	平成7年	
マシンツールフェア	平成7年	平成22年度終了
総合事業案内	平成7年	
産業プラザ維持管理	平成7年	
おおた工業フェア	平成7年	
大田区産業情報冊子	平成7年	
中小企業都市連絡協議会	平成8年	平成21年度から「ものづくり集積都市間連携事業」に統合。令和3年度終了
産業のまちネットワーク推進協議会	平成8年	平成22年度から「ものづくり集積都市間連携事業」に統合
産業団体名簿の作成	平成8年	令和元年度終了
おしごとナビ大田区(旧:求人企業ガイド)	平成8年	平成11年度「おしごとナビ大田区」開設
本羽田二丁目工場アパート	平成9年 2月開設	
産学公交流推進事業	平成9年	平成28年度から:「次世代産業創造事業」に統合
産業団体経営革新支援事業	平成10年	平成22年度から 工業系団体:「次世代ものづくり人材育成事業」に統合 商業・サービス系団体:事業名を変更し継続(旧事業名:産業団体経営・技術指導講習会等補助) 平成28年度から:対象を産業団体等とし、外国人対応事業、平成29年度にPR対応事業を補助対象として追加 令和2年度終了

事業名	開始年度	備考
公衆浴場バリアフリー化促進事業	平成11年	平成21年度から「公衆浴場施設改善助成」に統合
大型店対策	平成12年	
本羽田二丁目第2工場アパート(テクノWING)	平成12年 5月開設	住宅棟は同年9月
新製品・新技術開発支援事業	平成13年	都補助事業として平成8年から開始
ビジネスサポートサービス	平成13年	
中小企業情報化支援	平成13年	
区内産業のIT活用支援事業	平成13年	平成20年から財団事業「情報化支援事業」に統合
大田区工業PR事業	平成13年	製造業ものづくりマップ「輝け！大田のまち工場」(平成14年2月～)
工業地域・準工業地域における集団住宅建設の開発指導	平成14年	
子ども起業家育成セミナー	平成14年	平成13年度まで商店セミナー・発明クラブは平成17年度から開始
研究開発マッチング事業	平成15年	平成28年度から「次世代産業創造事業」に統合
新・元気を出せ！商店街事業	平成15年	都補助事業として平成3年から開始 令和元年度から「商店街チャレンジ戦略支援事業」に名称変更
創業支援施設(BICあさひ)	平成15年 5月開設	令和3年3月使用終了
中小企業知的財産戦略支援	平成16年	平成14年度から特許取得支援開始 平成28年度から「ビジネスサポートサービス」に統合
商店街再生支援事業	平成16年	平成27年度から「商店街コーディネーター派遣事業」に名称変更
大田ブランド発信事業	平成17年	平成20年度から「おおたモノづくりブランド発信事業」(補助金)開始 平成29年度終了
新事業展開グループ活動促進	平成18年	
高等専門学校を活用した中小企業人材育成事業	平成18年	平成20年度までは国の管理法人事業
若者と中小企業とのマッチング事業	平成18年	平成20年度から名称変更
新産業創造支援施設	平成18年 4月開設	
産学連携施設	平成18年 8月開設	令和3年5月使用終了
大田区産業振興基本戦略検討委員会	平成19年	平成20年度終了
戦略的基盤技術高度化支援事業	平成19年	平成21年度までの3か年
次世代経営者育成支援	平成19年	平成20年度から大田工連に移行
環境配慮型経営への取組み支援	平成19年	平成26年度から「ビジネスサポートサービス」に統合

事業名	開始年度	備考
中小企業融資あっせん制度(利子補給)	平成19年	平成19年9月に信用保証料補助終了
区内立地・操業環境整備事業	平成20年	平成26年度から「ものづくり企業立地継続補助金」実施 平成27年度から「ファブレス企業等立地助成事業」「企業立地サポート業務」実施
大田区加工技術展示商談会	平成20年	
おおた商い(AKINAI)・観光展	平成20年	
事業承継・モノづくり技術継承事業	平成20年	平成23年度から「大田モノづくりライブラリ」実施 平成26年度から「ビジネスサポートサービス」に統合
商店街コミュニティ活性化事業	平成20年	スタートアップ支援事業、お休み処周知事業、空きスペース活用事業への移行により、平成30年度から維持管理費補助、利用促進費補助を廃止
商店街景観整備事業	平成20年	令和3年度終了
大森南四丁目工場アパート(テクノFRONT 森ヶ崎)	平成20年 5月開設	
海外交流事業・工業団体海外交流支援事業	平成20年	令和3年度終了
大田区ものづくり優秀技能者(大田の工匠100人)表彰	平成20年	平成25年度から「大田の工匠Next Generation」開始 平成27年度から(公財)大田区産業振興協会へ事務移管 平成29年度から「大田の工匠 技術・技能承継」開始
次世代経営者育成セミナー	平成20年	財産業振興協会事業「次世代経営者育成支援」(平成19年～)から移行 平成22年度から「次世代ものづくり人材育成事業」に統合
産業のまちスクール	平成20年	産業振興協会事業「産業のまちスクール」(平成9年～)から移行 平成22年度から「次世代ものづくり人材育成事業」に統合
ロボット教室	平成20年	産業振興協会事業「ものづくり体験事業」(平成14年～)から移行 平成22年度から「次世代ものづくり人材育成事業」に統合
工業用地再開発支援事業	平成20年	
明日のものづくり懇談会	平成21年	工業振興対策委員会(昭和25～平成12年)から移行 明日のものづくりひろば(平成13年～平成20年)：平成21年度終了
繁盛店創出事業	平成21年	平成23年度から「あきない経営事例研究会」、商業情報誌「あきnow」実施
創業者支援事業	平成21年	
観光・産業情報コーナーの運営	平成21年	産業振興協会事業「情報コーナーの運営」(平成8年～)から移行

事業名	開始年度	備考
商店(飲食店)表彰制度(OTA!いちおしグルメ)	平成22年	平成26年度：表彰事業終了 平成27年度：過去の表彰店舗の総合版ガイドを作成 平成28年度から：表彰事業再開
次世代ものづくり人材育成事業	平成22年	「産業団体実地研修会助成」「産業団体経営・技術指導講習会等補助(旧事業名)」「次世代経営者育成セミナー」「産業のまちスクール」「ロボット教室」を事業統合し新規事業として実施
ものづくり集積都市間連携事業	平成22年	「中小企業都市連絡協議会」「産業のまちネットワーク推進協議会」を事業統合。新規事業として「大手中堅企業懇談会」を実施。平成25年度川崎市との産業連携に関する基本協定を締結。平成25年度文京区との医療関連産業の連携に関する覚書を締結。令和3年度中小企業都市連絡協議会終了。
健康増進型浴場改築等助成(公衆浴場施設改善助成の一部)	平成23年	
小規模事業者経営改善資金(マル経融資)利子補給制度	平成23年	
ものづくり戦略人材育成事業	平成24年	平成25年度から「大田の工匠による技術指導・相談事業」実施
東糀谷六丁目工場アパート(OTAテクノCORE)	平成24年 6月開設	
医工連携支援	平成24年	平成28年度から「次世代産業創造事業」に統合
農業機械技術研究会	平成25年	平成26年度：「農工連携セミナー」から名称変更。 平成26年度から「受・発注相談」に統合
フードビジネス支援事業	平成25年	平成26年度：「フード商談会」から名称変更し「受・発注相談」に統合 平成29年度から「商い・サービス産業取引相談」へ移行
大田区優秀技術者表彰事業	平成25年	平成27年度から産業振興協会へ事務移管
創業支援事業計画の認定	平成26年	
経営革新等支援業務の認定	平成26年	
羽田空港跡地の産業交流施設整備	平成26年	
国家戦略特区制度(東京圏)	平成26年	
ものづくり人材育成事業	平成26年	「次世代ものづくり人材育成事業」「ものづくり戦略人材育成事業」を事業統合
女性・若手商人支援事業	平成26年	平成27年度から若手商人ネットワーク事業は区内商店街連携強化推進事業に移管。平成29年度に商店街女性・若手チャレンジ事業を廃止
商店街PR事業	平成26年	平成29年度に廃止

事業名	開始年度	備考
空き店舗対策事業	平成26年	平成27年度から（公財）大田区産業振興協会へ事務移管
買い物弱者支援事業	平成26年	平成27年度から新・元気を出せ！商店街事業に統合
産業基礎調査	平成26年	「工業・小売業景気動向調査」「商工資料の作成」を事業統合 平成26年度：新規事業として「商店街調査」「ものづくり産業等実態調査」を実施
中小企業融資あっせん制度「チャレンジ企業応援資金」	平成26年	
地方創生先行事業「大田区イノベーション創造サロン」の開設	平成27年	
モデル商店街事業	平成27年	平成29年度廃止
オリンピック・パラリンピック・アクションプログラム「文化交流・多言語習得でおもてなし事業」	平成27年	平成29年度廃止
商店街活性化テーマ別選択事業（商店街活性化推進事業の一部）	平成27年	平成29年度から商店街女性・若手チャレンジ事業、商店街PR事業、文化交流・多言語習得でおもてなし事業、モデル商店街事業を廃止・統合（令和2年度終了）
区内商店街連携強化推進事業	平成27年	商店街活性化推進事業の一部を移管 大田区商店街連合会へ委託して実施
東京都の装飾灯LED化補助制度への上乗せ補助	平成27年	商店街装飾灯整備助成（設置補助）に追加（令和元年度終了）
商店街コーディネーター派遣事業	平成27年	平成28年度から「区内商店街連携強化推進事業」に統合 令和2年度から「商店街ステップアップ応援事業」に移行
耐震化促進支援事業（公衆浴場施設改善助成の一部）	平成27年	
大田区海外市場開拓支援調査研究員の設置	平成27年	平成28年度廃止
中小企業融資あっせん制度「開業資金（商店街空き店舗活用・ものづくり事業）」	平成27年	
地域課題解決型ビジネス支援	平成27年	
新創業融資資金利子補給制度	平成28年	
次世代産業創造事業	平成28年	「研究開発マッチング事業」「産学公交流推進事業」「医工連携支援」を統合 令和2年度から「次世代産業創造・産業クラスター形成事業」に統合
大田のお土産100選 表彰事業	平成28年	
商業事業者相談員（あきない活性化コーディネーター）の設置	平成28年	平成29年度から「商い・サービス産業取引相談」へ移行
オーダーメイド型福祉用具製作事業	平成28年	
医工連携自治体協議会	平成28年	
区内大学等との連携講座	平成28年	

事業名	開始年度	備考
商店街お休み処認定制度(商店街コミュニティ活性化事業の一部)	平成29年	令和3年度終了
商店街お休み処活性化事業(商店街コミュニティ活性化事業の一部)	平成29年	スタートアップ支援事業、お休み処周知事業、空きスペース活用事業を創設。令和3年度終了
商い・サービス産業取引相談	平成29年	商業事業者相談員(あきない活性化コーディネーター)、フードビジネス支援事業を統合
障がい者用スポーツ用具の開発	平成29年	令和2年度終了
産業クラスター形成事業	平成30年	令和2年度から「次世代産業創造事業」に統合
ものづくりベンチャー連携創出事業	平成30年	令和元年度から産業振興協会へ事務移管
生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画の認定	平成30年	
事業承継の取組	平成31年	令和2年度から継業アドバイザー養成開始
商店街チャレンジ戦略支援事業	令和元年	「新・元気を出せ!商店街事業」から名称変更
インダストリアルパーク羽田大田区産業施設(Techno Square Haneda)開設	令和元年	
次世代産業創造・産業クラスター形成事業	令和2年	「次世代産業創造事業」と「産業クラスター形成事業」を統合
商店街戦略的PR事業費補助金	令和2年	
スタートアップ×大田区企業ユナイット助成事業	令和3年	
南六郷創業支援施設(六郷BASE)	令和3年 10月開設	
事業承継資金利子補給制度	令和3年	
ピオパークの開設	令和3年	
ビズビーチ コワーキングの運営	令和4年	令和4年度から大田区産業プラザ指定管理に含めて開始
PiOフロントの開設	令和4年	

事業開始年度一覧（観光課）

事業名	開始年度	備考
おおた商い観光展	平成20年	(一社) 大田観光協会への補助事業
観光情報の提供	平成20年	平成25年度から(一社) 大田観光協会への支援へ名称変更
おおたの観光魅力創出事業	平成20年	平成25年度から(一社) 大田観光協会への支援へ名称変更
(一社) 大田観光協会への支援	平成20年	【大田観光協会に対する補助金交付に関する要綱】 平成25年度から名称変更(「おおたの魅力創出事業」、「観光情報の提供」を統合)
品川・大田広域観光まちづくりの支援	平成20年	品川・大田地域観光まちづくり推進協議会事業に対する補助金交付に関する要綱 平成28年度で終了
観光案内サインの整備	平成21年	平成21年度にて整備計画を策定。22年度からサインを設置
大田区観光大使	平成21年	平成27年度から「国際都市おおた大使」として国際都市・多文化共生推進課に移管
観光紹介用パンフレットの作成	平成21年	
観光・産業情報コーナーの運営	平成21年	財団事業「情報コーナーの運営」(平成8年～)から移行 平成26年度から産業振興課に移管
羽田空港国際線旅客ターミナル大田区観光情報コーナーの運営	平成22年	国際線ターミナル
観光まちづくり助成金	平成23年	観光振興に取り組む区民活動団体に対する助成、平成24年度で終了
訪日外国人旅行者受入環境整備事業	平成23年	
大田区まちかど観光案内所事業	平成23年	令和4年度、大田区ウェルカムショップと統合
六郷用水せせらぎウォーキング	平成23年	六郷用水400周年、六郷水門80周年 平成23年度限り
羽田空港国際化1周年事業「いらっしやいOTA」	平成23年	平成23年度限り
梅ちゃん先生観光PR事業	平成23年	平成24年度で終了
観光展示会出展事業	平成23年	平成25年度からインバウンド誘致事業へ統合
海外等へ向けての観光情報の提供	平成23年	
大田区観光推進協議会の運営	平成24年	【大田区観光推進連絡協議会に対する補助金交付要綱】
大田区観光PR特使	平成24年	【大田区観光PR特使設置要綱】
観光まちづくり推進支援事業	平成25年	事業者や団体による観光まちづくりに関する取り組みに対する助成、平成26年度で終了
大田区産業観光促進事業	平成25年	【大田区産業観光資源整備補助金交付要綱】 平成29年度から、大田の観光にぎわい創出事業補助金に統合

事業名	開始年度	備考
インバウンド誘致事業	平成25年	
MICE誘致事業	平成25年	
映画・ドラマを活かした観光PR事業	平成25年	
京急線品川駅構内大田区観光情報コーナーの運営	平成25年	平成29年度で終了
観光マーケティング調査	平成26年	平成29年度 第2回目実施
川崎市連携事業	平成26年	【大田区と川崎市との産業連携に関する基本協定】 【大田区・川崎市観光まちづくり連携事業に係る協定書】
観光サポーター育成事業	平成26年	平成27年度で終了
公衆無線LAN(Wi-Fi環境)整備事業	平成27年	令和3年度で運用終了
大田区公式観光サイトの運営	平成27年	令和4年度、(一社)大田観光協会HPと統合予定
大田区観光情報センターの運営	平成27年	
大田区観光PR動画制作	平成28年	平成29年度で終了
国際都市おおたフェスティバルin「空の日」羽田	平成29年	平成29年度、国際都市・多文化共生推進課から事務移管 令和3年度から「空の日に実施する羽田空港イベントとの連携事業」
大田の観光にぎわい創出事業補助金	平成29年	【大田の観光にぎわい創出事業補助金交付要綱】
大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の活用	平成30年	平成30年度、総務課から事務移管
来訪者向け観光コンテンツ及び推奨ルートの造成	令和元年	令和元年度限り
池上駅大田区観光情報コーナー設置	令和2年	
おおたプライド事業「大田区学」	令和3年	
大田区探訪「はねぴょんさんぽ」	令和3年	
東京2020大会を契機とした地域活性化事業	令和3年	令和3年度限り

事業開始年度一覧（一般社団法人大田観光協会）

事業名	開始年度	備考
おおた商い観光展	平成20年	
大田観光協会ホームページ管理運営	平成20年	令和4年度、公式観光サイトと統合
観光パンフレット等の発行	平成23年	
おおたオープンファクトリー	平成24年	
蒲田映画祭	平成25年	令和3年度廃止
くりらぼ多摩川運営事業	平成25年	
水辺の賑わい事業	平成26年	
大田の魅力PR事業	平成29年	
観光まちづくり事業	平成31年	

大田区産業プラザ施設概要

1 施設概要

所在地 大田区南蒲田一丁目20番20号

建物の概要 鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）／地下1階・地上6階建（一部9階建）
建物形態 東京都と大田区との合築。
旋盤等での切削加工に用いる工具・バイトをイメージした、先鋭的な外観。
敷地面積 9,877.72㎡（産業棟の延床面積 22,758.78㎡）
延床面積 26,823.79㎡（大田区の配分面積 14,704.17㎡）

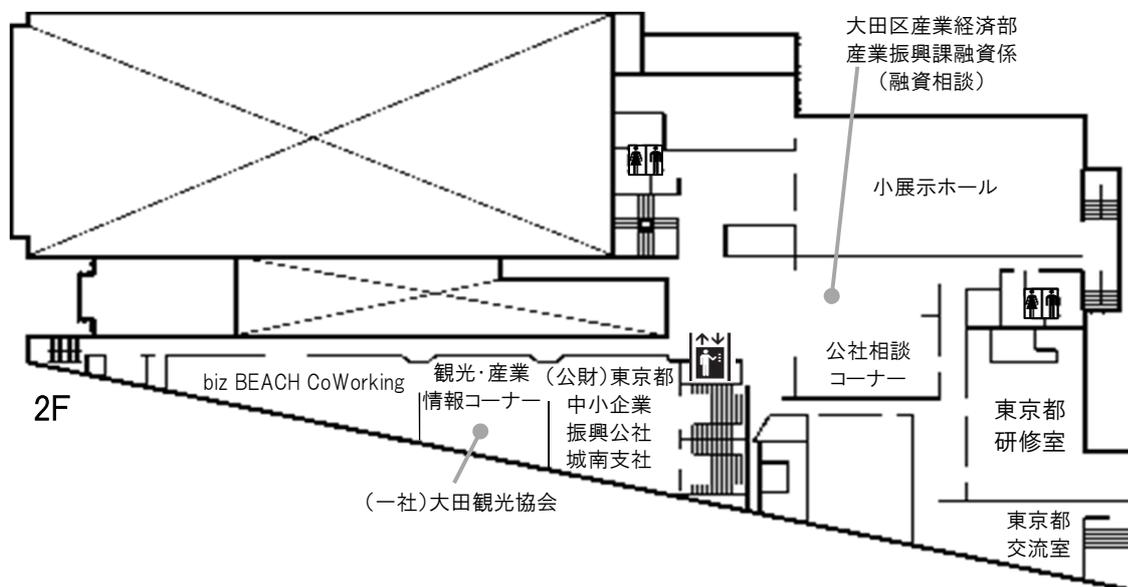
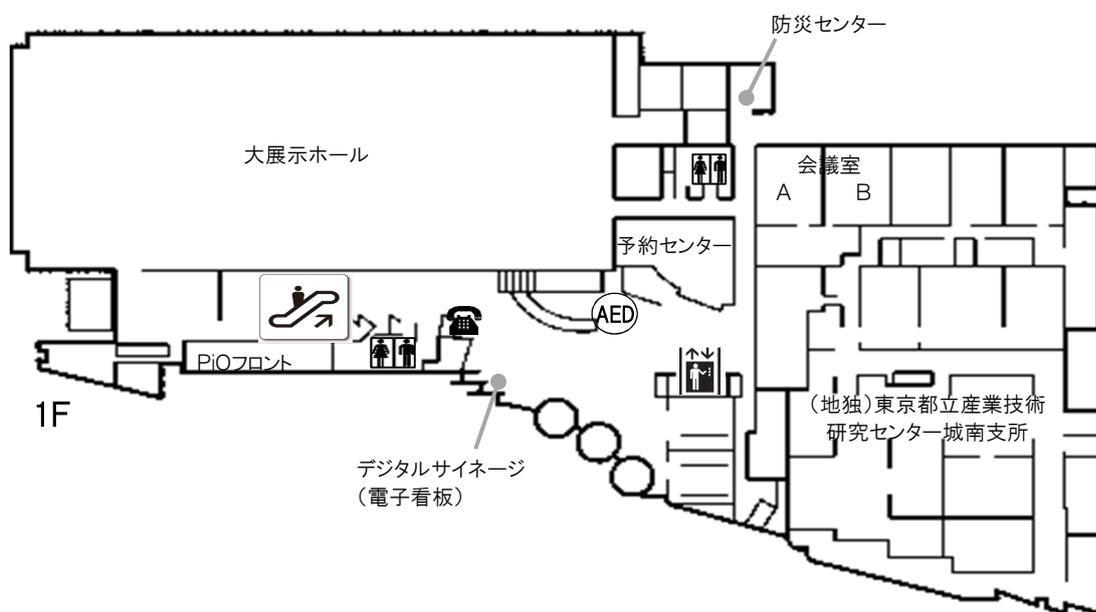
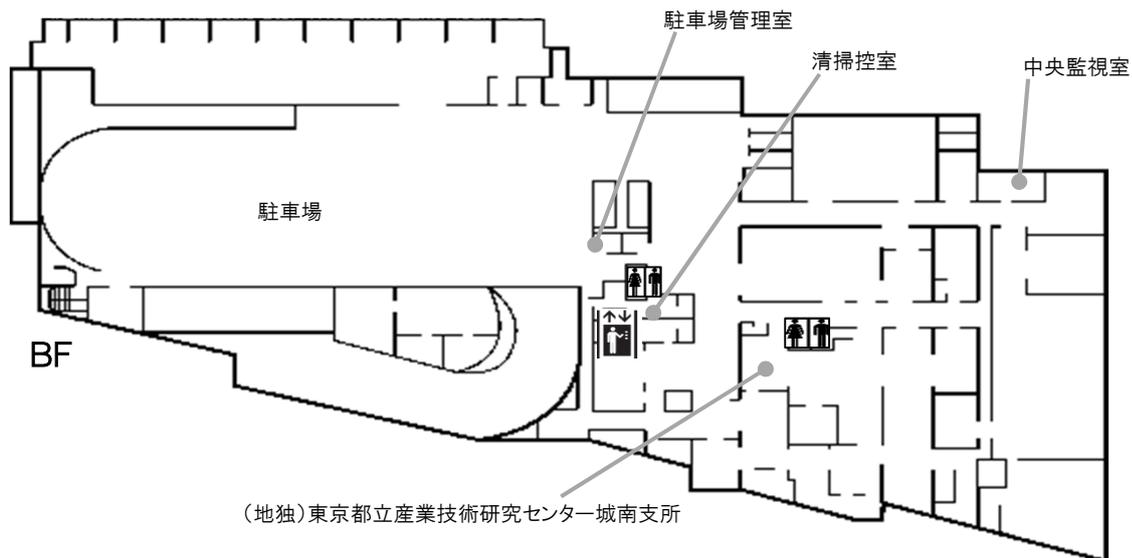
設置目的 中小企業が目まぐるしく変化する内外の環境への確に対応できるよう、将来の需要や先端技術の動向を情報として提供するとともに、産業人が製品の展示や技術の紹介を相互に示あえる場（ステージ）を設定し、交流を通して新しいネットワークを形成できる広場（プラザ）を作り上げることを目的としている。

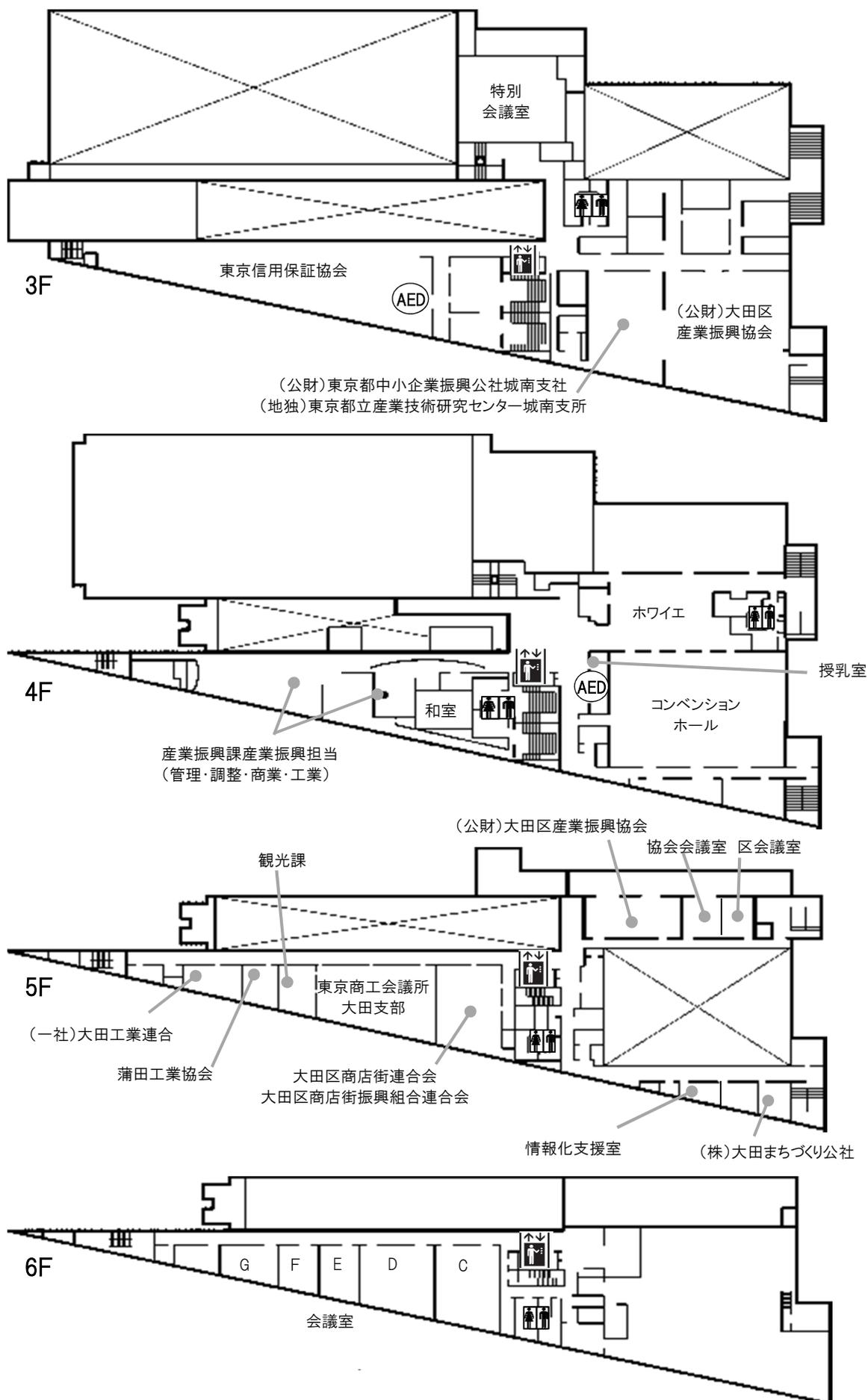
沿革 平成2年3月 産業プラザ建設基本計画書作成
平成4年3月 プロポーザル方式により産業プラザの設計確定
平成5年5月 東京都労働経済局・住宅局・大田区との間で建築協定締結
平成5年6月 着工
平成7年11月30日 竣工
平成8年2月1日 開館
2月6日 都区合同開所式
（1階ロビー正面玄関脇に、陶板画のレリーフ（*）を展示）
平成12年5月 公共建築賞優秀賞受賞

* レリーフについて	題名 「飛騰（ひとう）」
・大田区と交流事業を行っている北京市から、機械工業管理局(当時)を通して贈呈された。 ・中国陶板画の第一人者であった陳進海氏の設計、中国中央工芸美術学院の製作である。 ・中国で基礎をつくり、産業プラザ内で一週間かけて完成した。 ・「飛騰」とは、急速に上昇するという意味であり、画には車と龍が描かれ、産業発展をイメージしている。	

開館時間等 ① 開館時間 午前8時～午後10時
② 休館日 12月29日～1月3日 及び 施設保守点検日（原則、月に1回）

2 産業プラザ館内案内図



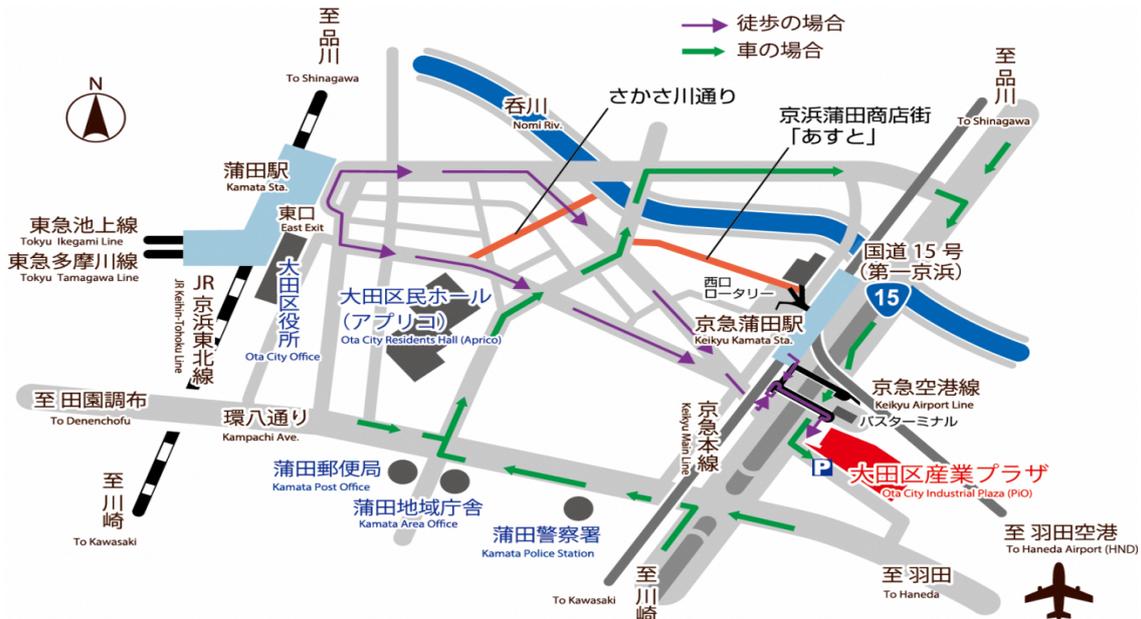


3 アクセス

<所在地>

〒144-0035

大田区南蒲田一丁目20番20号



<交通手段>

- ・京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分
- ・JR京浜東北線、東急池上・多摩川線「蒲田」駅より徒歩約13分

<開館時間>

- ・8:00～22:00

<駐車場>

- ・利用時間 8:00～22:00
- ・利用料金 100円/30分(最初の30分無料)
- ・進入可能車両 車高3.2m×7.6m以内
- ・駐車可能車両 平置き50台(その他、荷さばきスペースあり)
区画により車高制限あり。2.3mまたは2.7m

<電話番号>

- ・P i O フロント 03-3733-0066
- ・産業プラザ予約センター 03-3733-6144

令和4年7月発行

View 2022-大田区産業経済部事業概要-

編集・発行 大田区産業経済部

〒144-0035

東京都大田区南蒲田一丁目 20 番 20 号

大田区産業プラザ PiO 4 階

電話 03(5744)1363

FAX 03(6424)8233